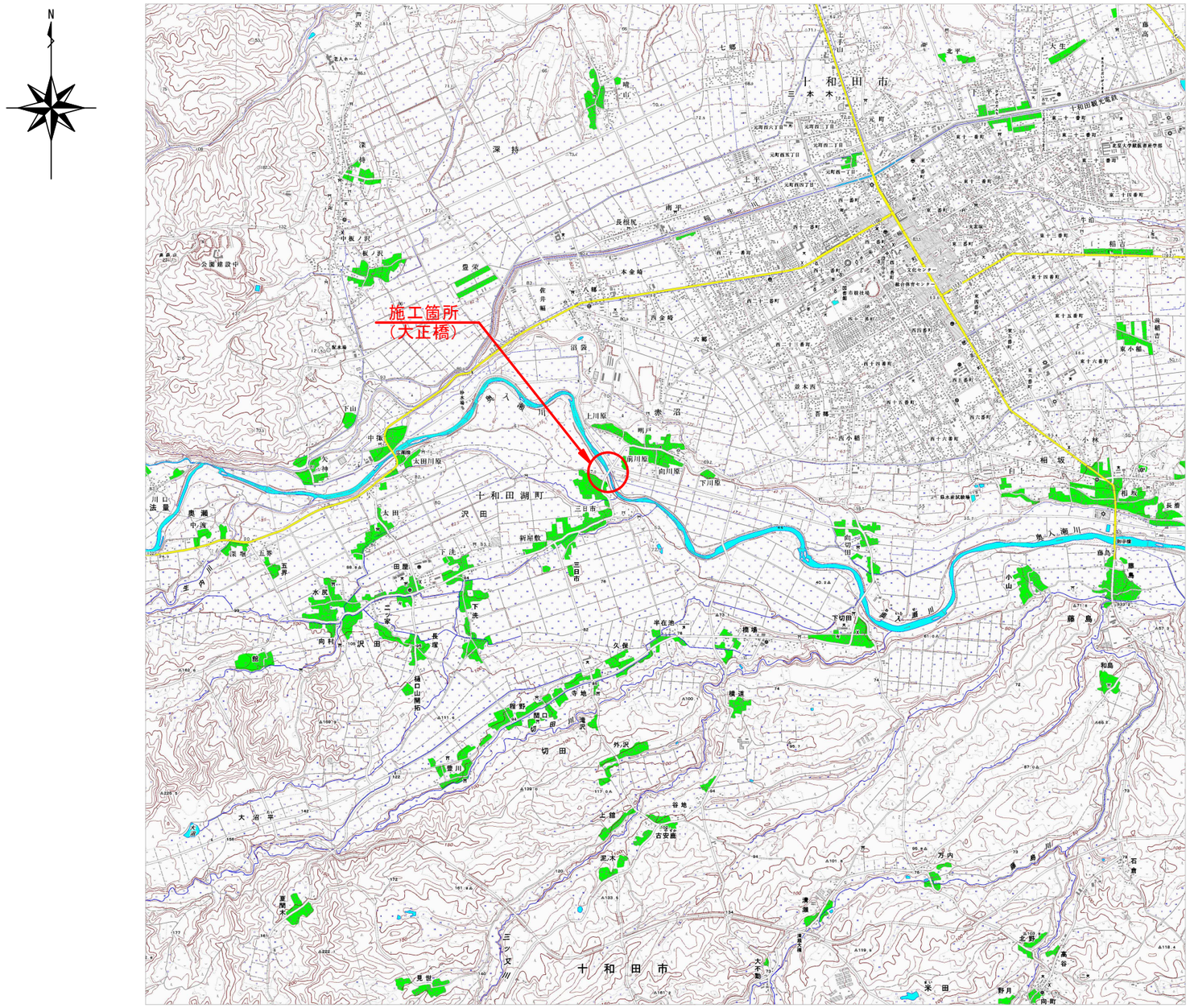
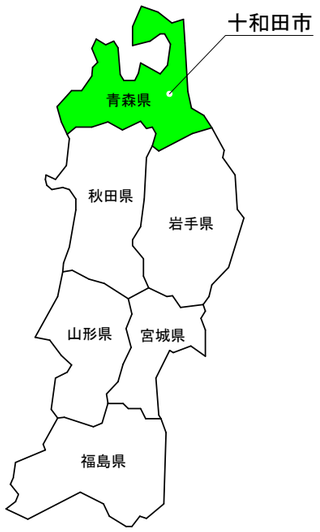
令和 8 年度 橋梁架替（大正橋）工事			
工事番号	線メンテ第 403-1 号		
河川 路線 名	中ノ渡十和田線		
施工箇所	青森県十和田市大字沢田 地内		
位置図		縮尺	1:25000
図面番号	22 葉中 1		
上北県土整備事務所			
青 森 県			

位 置 図 S=1:25000



※国土地理院数値地図より引用



設計箇所 ： 青森県十和田市大字沢田 地内

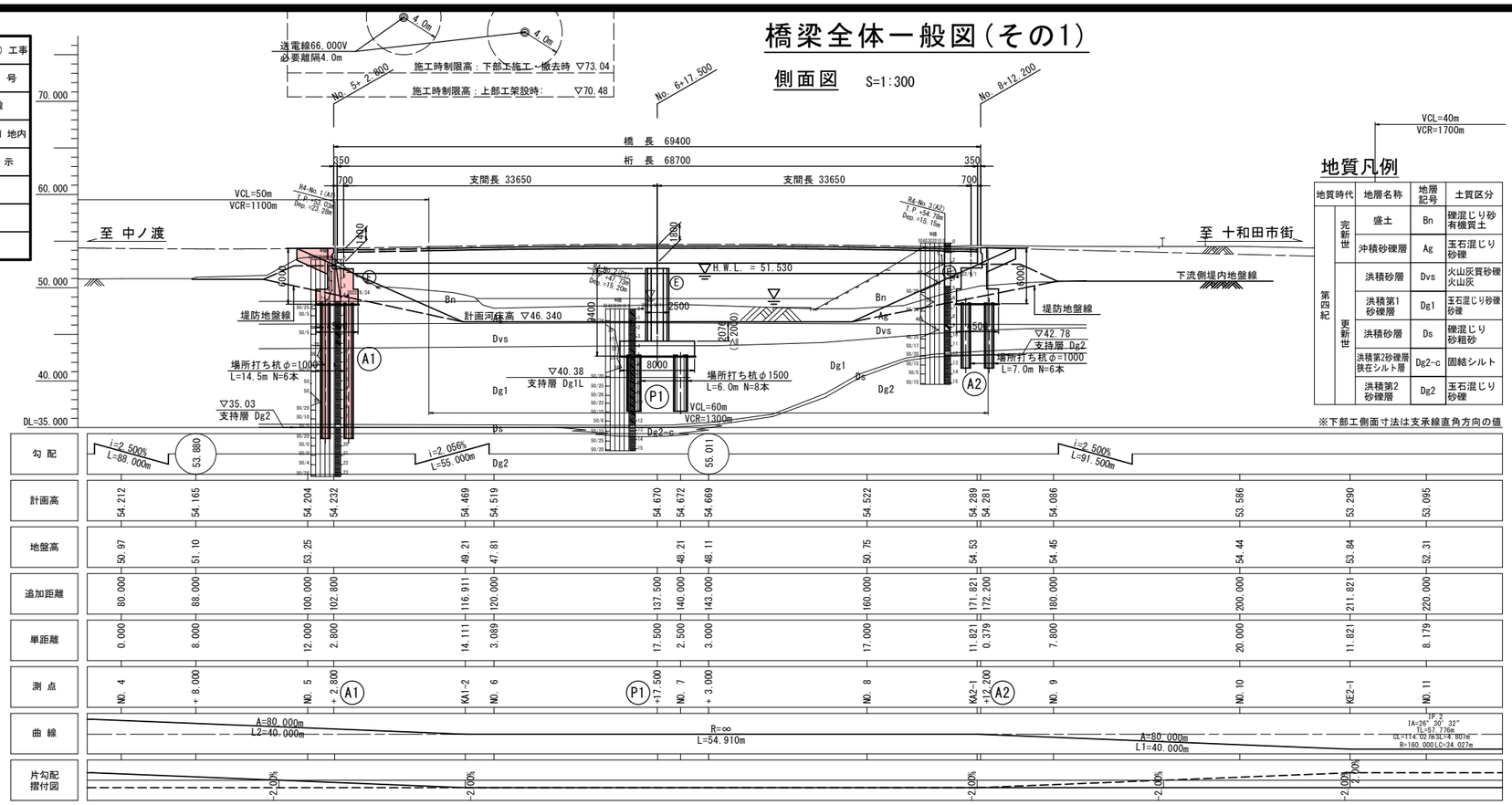
橋　　名 ： 大正橋

路 線 名 ： 一般県道 中ノ渡十和田線

令和 8 年度 橋梁架替（大正橋）工事	
工事番号	線メンテ第 403-1 号
河川路線名	中ノ渡十和田線
施工箇所	青森県十和田市大字沢田 地内
橋梁全体一般図(その1)	縮尺 / 図示
図面番号	22 葉中 2
上北県土整備事務所	
青森県	

橋梁全体一般図（その1）

側面図 S=1:300

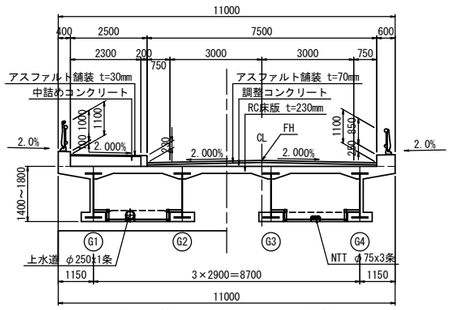


※下部工側面寸法は支承線直角方向の値

地質凡例

地質時代		地層名称	地層記号	土質区分
第四紀	完新世	盛土	Bn	礫混じり砂有機質土
		沖積砂礫層	Ag	玉石混じり砂礫
	更新世	洪積砂層	Dvs	火山灰質砂礫火山灰
		洪積第1砂礫層	Dg1	玉石混じり砂礫砂礫
		洪積砂層	Ds	礫混じり砂粗砂
		洪積第2砂礫層狭在シルト層	Dg2-c	固結シルト
		洪積第2砂礫層	Dg2	玉石混じり砂礫

上部工断面図 S=1:100

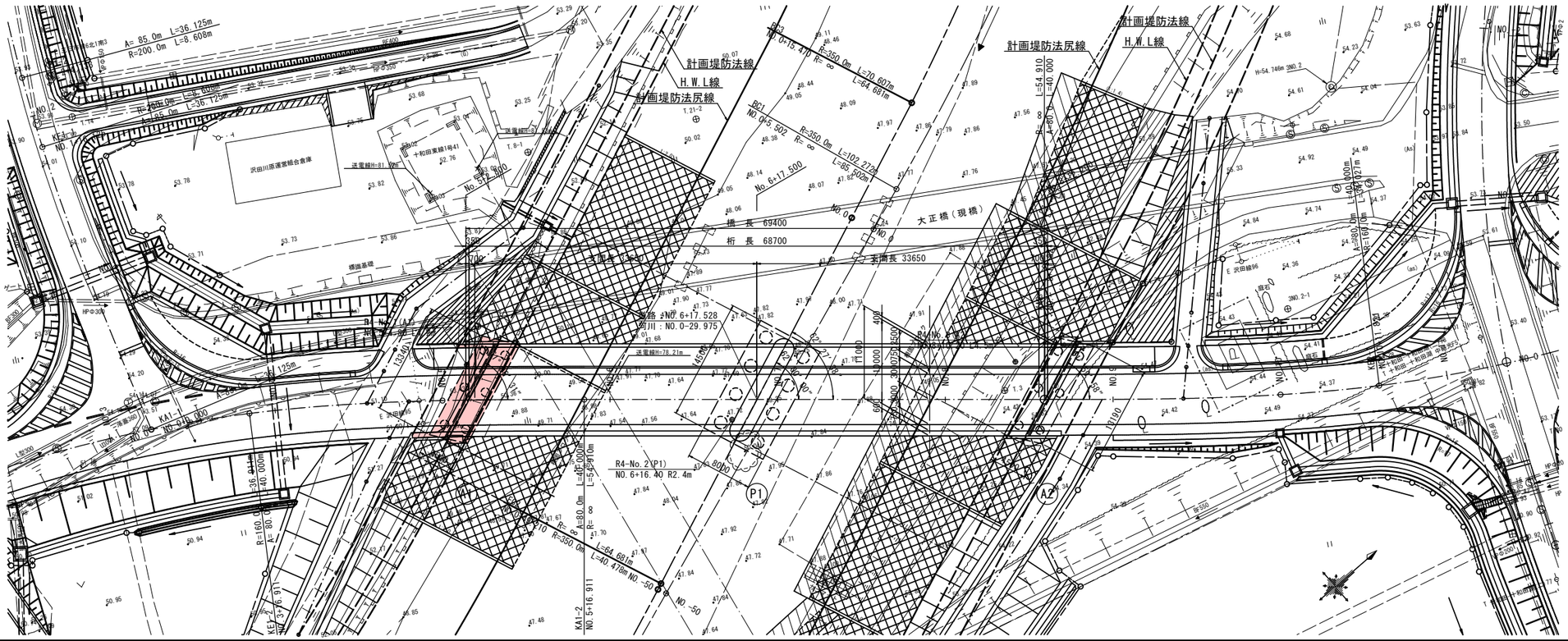


（端支点部） （中間部）

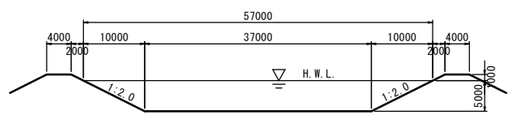
設計条件

橋梁名			大正橋
路線名			一般県道 166号 中野渡十和田線
道路規格			第3種 第3級
設計速度			V=50km/h
計画交通量			1,300台/日
大型車交通量			92台/日/方向(大型車混入率12.85%,重方向率55.10%)
橋の耐荷性能(橋の重要度)			橋の耐荷性能2（橋の重要度B種）
塩害対策区分			区分なし(凍結抑制剤散布路線)
橋長			L=69.400m
桁長			L=68.700m(68.661m) ※()内は主桁上での値を示す
支間長			L=33.650m(33.611m)+33.650m ※()内は主桁上での値を示す
有効幅員			W=10.000m(2.500+0.750+3.000+3.000+0.750m)
総幅員			W=11.000m
斜角			61° 06′ 31″ (A1) 62° 00′ 00″ (P1) 61° 59′ 58″ (A2) ※A1・A2はP1に平行配置
線形条件	平面線形		A=80m ～ R=∞ ～ A=80m
	縦断勾配		2.056% VCL=60m,VCR=1300m 2.500%
	横断勾配		i=2.000%(片勾配) ～ 2.000%(拝み勾配) ～ 2.000%(片勾配)
設計活荷重			B活荷重
雪荷重			1.0kN/m²
舗装構成			アスファルト舗装t=70mm(車道),アスファルト舗装t=30mm(歩道)
防護柵			歩行者自転車用柵兼用車両用防護柵B種 H=1.1m
添架物			上水道φ250x1条、W1=1.0kN/m・NTTφ75x3条、W2=0.5kN/m
耐震設計条件	地域別補正係数		A2地域 (Cz=1.0, CIz=1.0, CIIz=1.0)
	地盤種別		II種地盤 (A1)、I種地盤 (P1, A2)
	設計水平震度	レベル1	Cz・kh=0.25(橋軸)、Cz・kh=0.24(直角)
		レベル2 タイプI	Cz・kIh=1.37(橋軸)、Cz・kIh=1.40(直角)
		レベル2 タイプII	Cz・kIIh=2.00(橋軸)、Cz・kIIh=1.49(直角)
上部構造	形式		2径間連続プレビーム合成桁 (変断面)
	床版		鉄筋コンクリート床版(σck=30N/mm²)
	使用材料	鋼材	SM490Y, SMA490W
		コンクリート	σck=50N/mm²(L-FL) σck=30N/mm²(WEB・床版・横桁) σck=24N/mm²(地覆)
		鉄筋	SD345
	クリープ係数		0.9
	支承構造		橋軸方向：免震(A1, P1, A2) 橋軸直角方向：固定(A1, P1, A2)
	架設方法		クローラクレーンによる1径間毎の支間一括架設
下部構造	躯体形式		逆T式橋台 (A1, A2) 壁式小判断面橋脚 (P1)
	使用材料	コンクリート	σck=24N/mm²
		鉄筋	SD345
		橋台裏込土	γ=20kN/m³, φ=30°
基礎構造	基礎形式		場所打ち杭基礎 (A1:φ1000, P1:φ1500, A2:φ1000)
	支持地盤		玉石混り砂礫
	使用材料	コンクリート	σck=30N/mm²(呼び強度)
		鉄筋	SD345
適用示方書			道路橋示方書・同解説 I～V (平成29年11月)

平面図 S=1:300



橋梁計画上の計画河川断面図 S=1:500



河川条件

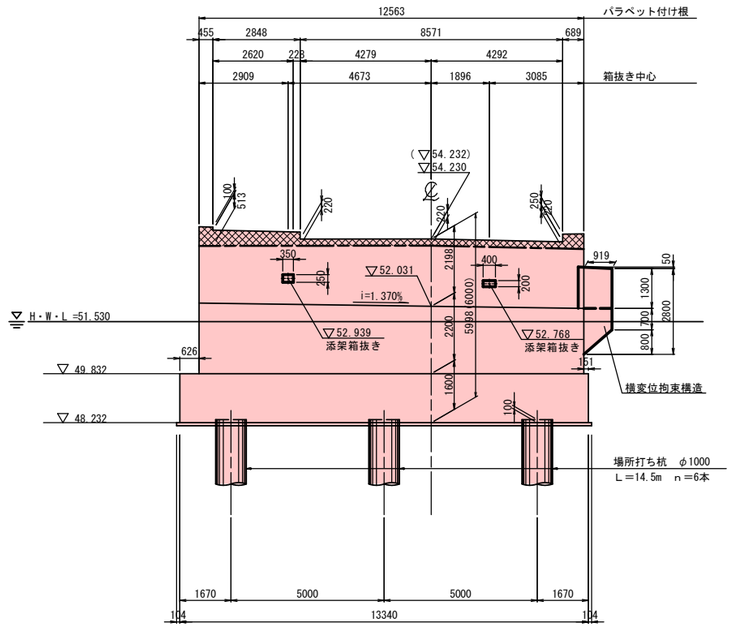
河川名	二級河川 奥入瀬川水系 奥入瀬川
河川管理者	青森県
河川改修計画	計画有り
河道形態	築堤河道
計画高水流量	Q=1,100m³/sec
計画高水位	51.530(No.0- 2.091)
計画堤防高	52.530(No.0- 2.091)
計画河床高	46.340(No.0-46.264)
最深河床高	47.340(No.0-46.264)
河川勾配	I=1/250(計画) I=1/200(現況)
堤防余裕高	H= 1.0m
計画堤防天端幅	W= 4.0m
計画堤防法勾配	1:2.0
河積阻害率	5.0%以内
基準径間長	L=25.5m(L = 20+0.005Q)
河川管理用通路	W=4.0m 4箇所設置(平面交差)

橋梁全体一般図（その2）

令和 8 年度 橋梁架替（大正橋）工事			
工事番号	線メンテ第 403-1 号		
河川 路線 名	中ノ渡十和田線		
施工箇所	青森県十和田市大字沢田 地内		
橋梁全体一般図(その2)	縮尺	1:100	
図面番号	22 葉中 3		
上北県土整備事務所			
青 森 県			

下部工正面図 S=1:100

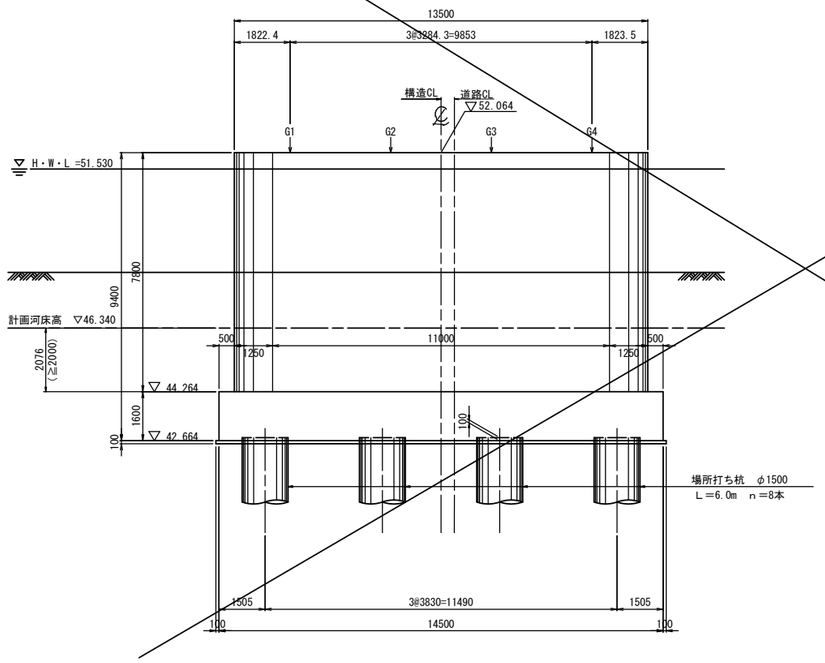
A1橋台



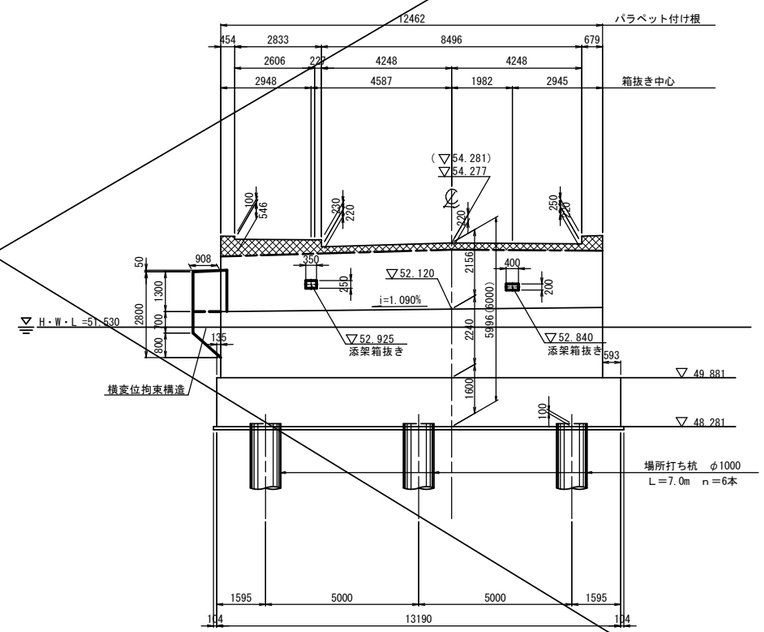
※（）内はパラペット前面位置での値を示す

：2次施工部

P1橋脚



A2橋台

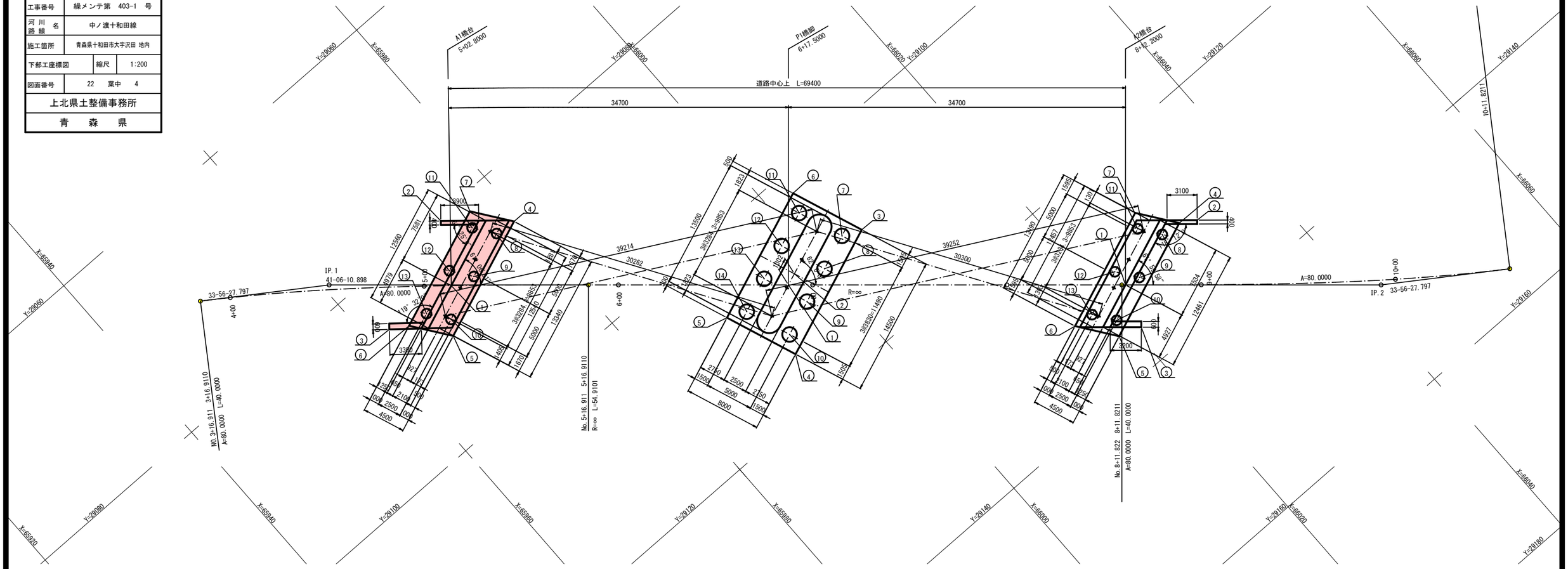


※（）内はパラペット前面位置での値を示す

：2次施工部

令和 8 年度 橋梁架替（大正橋）工事		
工事番号	線メンテ第 403-1 号	
河川路線名	中ノ渡十和田線	
施工箇所	青森県十和田市大字沢田 地内	
下部工座標図	縮尺	1:200
図面番号	22 葉中 4	
上北県土整備事務所		
青 森 県		

下部工座標図 S=1:200



橋台座標値

		A1橋台		A2橋台	
		X座標	Y座標	X座標	Y座標
道路中心	1	65970.0645	29086.2185	66022.4073	29131.7876
ウイング	2	65973.6194	29080.4996	66032.3461	29131.6131
	3	65962.2933	29085.4163	66020.7703	29136.1328
フーチング	4	65979.2706	29085.4866	66030.7625	29130.6314
	5	65966.8081	29090.2448	66018.4400	29135.3361
	6	65964.0765	29086.4709	66015.7085	29131.5622
	7	65976.5391	29081.7126	66028.0309	29126.8575
杭中心	8	65977.1035	29085.2436	66028.6654	29130.3617
	9	65972.4324	29087.0270	66023.9942	29132.1451
	10	65967.7612	29088.8105	66019.3231	29133.9286
	11	65975.5859	29083.1470	66027.1478	29128.2651
	12	65970.9148	29084.9304	66022.4767	29130.0485
	13	65966.2437	29086.7138	66017.8056	29131.8319

橋脚座標値

		P1橋脚	
		X座標	Y座標
道路中心	1	65996.2598	29108.9754
構造中心	2	65997.4765	29108.5108
フーチング	3	66005.6764	29109.6617
	4	65992.1302	29114.8337
	5	65989.2767	29107.3599
	6	66002.8229	29102.1879
杭中心	7	66003.7354	29108.7972
	8	66000.1573	29110.1633
	9	65996.5792	29111.5294
	10	65993.0012	29112.8955
	11	66001.9519	29104.1261
	12	65998.3739	29105.4922
	13	65994.7958	29106.8583
	14	65991.2177	29108.2244

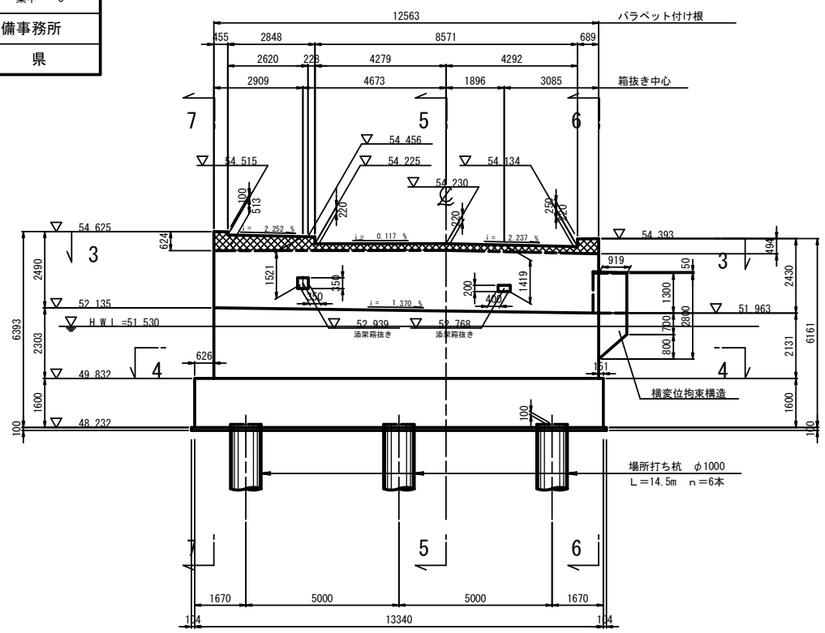
支承座標値

			G1	G2	G3	G4
A1橋台	S1	X座標	65976.7525	65973.6841	65970.6157	65967.5473
		Y座標	29084.6573	29085.8289	29087.0004	29088.1719
		設置角	62-00-00.000	62-00-00.000	62-00-00.000	62-00-00.000
P1橋脚		X座標	66002.0792	65999.0108	65995.9424	65992.8740
		Y座標	29106.7535	29107.9250	29109.0966	29110.2681
		設置角	62-00-00.000	62-00-00.000	62-00-00.000	62-00-00.000
A2橋台	S2	X座標	66027.4355	66024.3671	66021.2987	66018.2303
		Y座標	29128.8755	29130.0470	29131.2185	29132.3901
		設置角	62-00-00.000	62-00-00.000	62-00-00.000	62-00-00.000

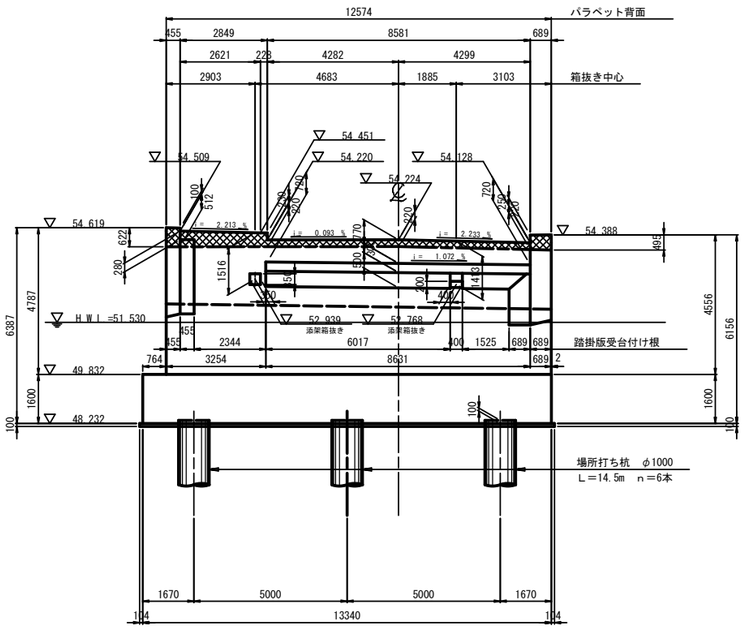
令和 8 年度 橋梁架替（大正橋）工事		
工事番号	緑メンテ第 403-1 号	
河川路線名	中ノ渡十和田線	
施工箇所	青森県十和田市大字沢田 地内	
A1橋台構造一般図（その1）	縮尺	1:100
図面番号	22 葉中 5	
上北県土整備事務所		
青 森 県		

A1橋台構造一般図（その1） S=1:100

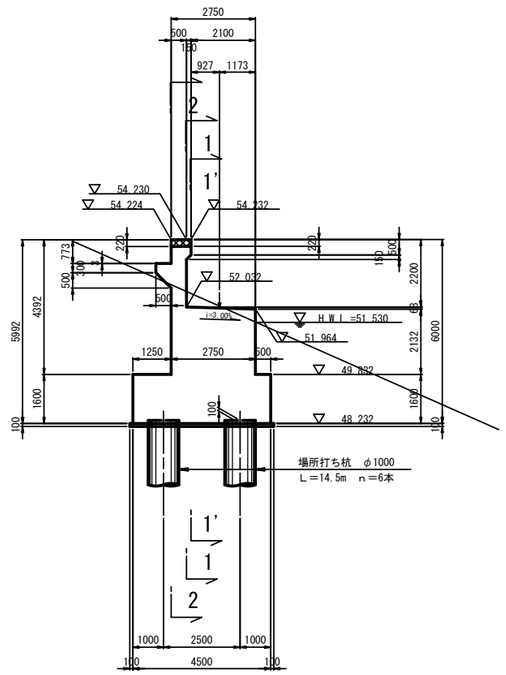
1 － 1



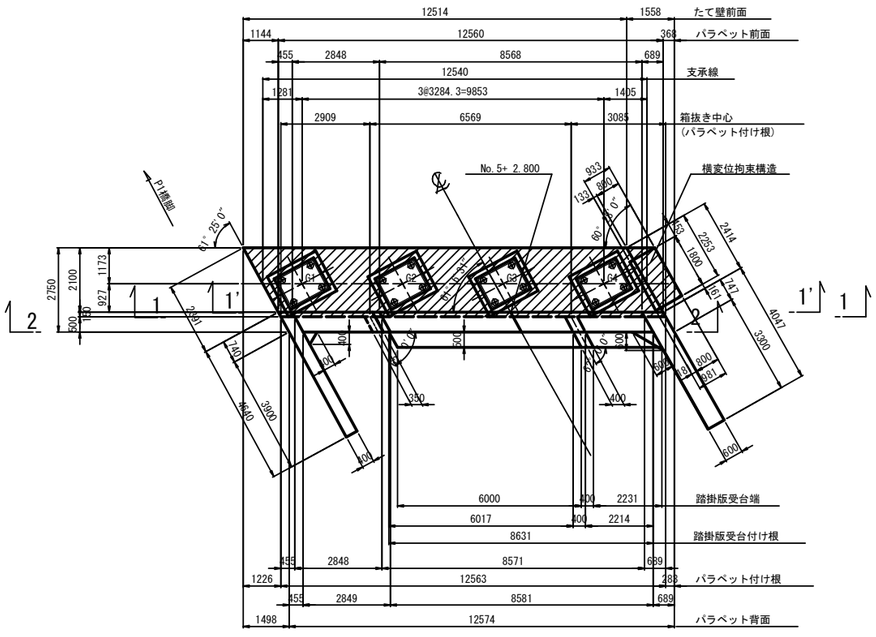
2 － 2



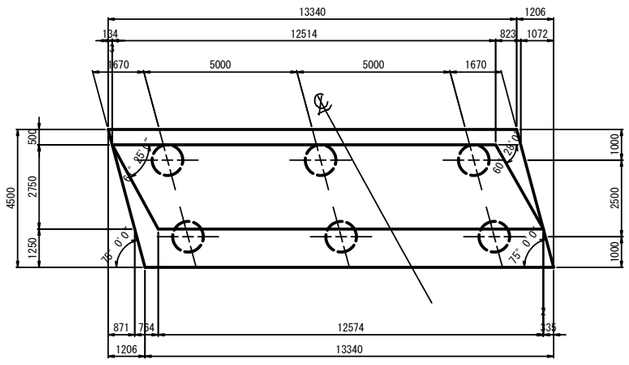
5 － 5



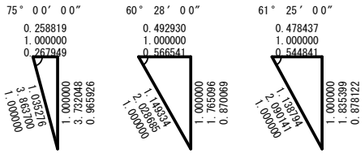
3 － 3



4 － 4



斜 比



使用材料一覧表

使用区分	コンクリート設計基準強度	鉄筋種別
躯 体	σ_{ck} = 24 N/mm^2	SD345
フーチング	σ_{ck} = 24 N/mm^2	SD345
均しコンクリート	σ_{ck} = 18 N/mm^2	——

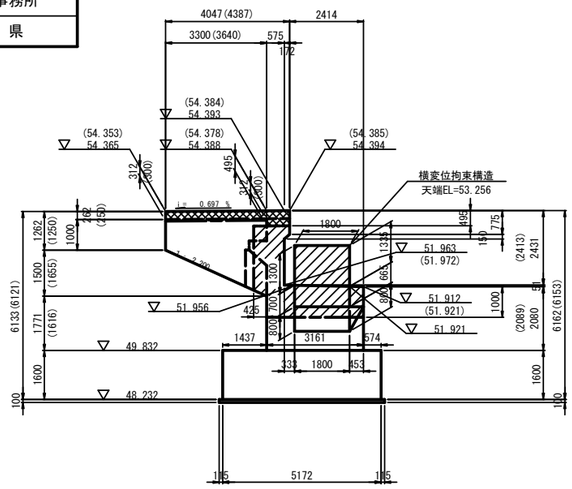
注意事項

1) 沓座面には3.0%排水勾配を設ける事。
2) 地覆天端面には2.0%排水勾配を設ける事。
3) ▩は、二次施工部を示す。
4) ▨は、コンクリート塗装部を示す。

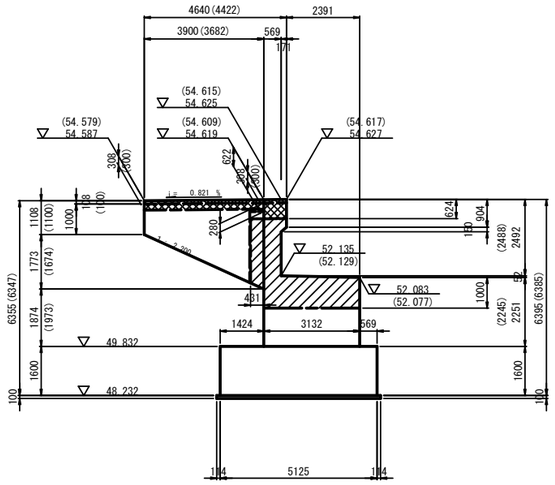
令和 8 年度 橋梁架替（大正橋）工事		
工事番号	線メンテ第 403-1 号	
河川 路線 名	中ノ渡十和田線	
施工箇所	青森県十和田市大字沢田 地内	
A1橋台構造一般図（その2）	縮尺	図 示
図面番号	22 葉中 6	
上北県土整備事務所		
青 森 県		

A1橋台構造一般図（その2） S=1:100

6 － 6
（右ウイング）



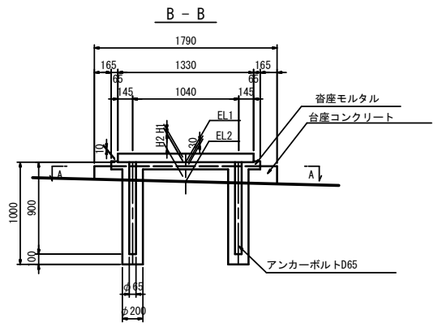
7 － 7
（左ウイング）



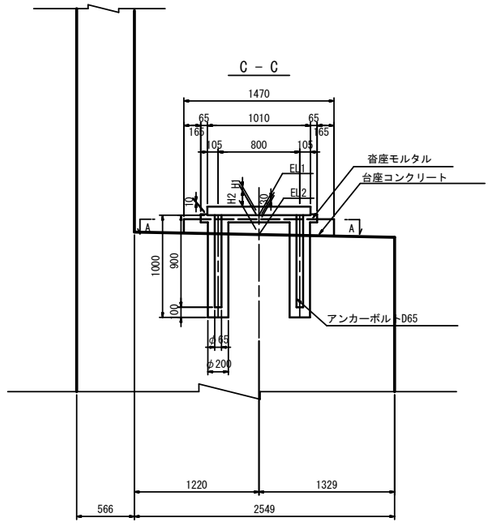
※( )内寸法はウイング内側を示す。

支承詳細図 S=1:30

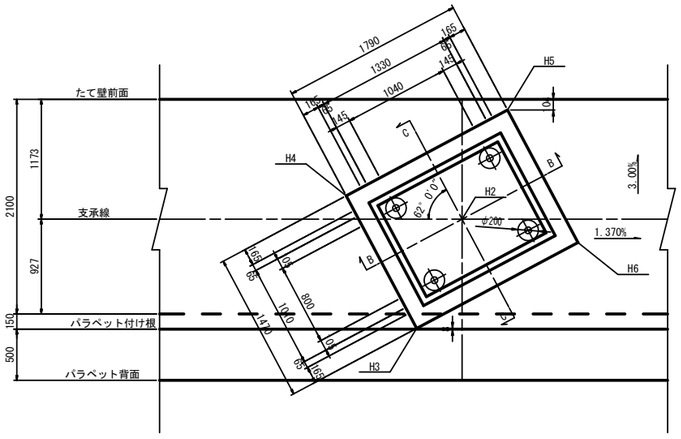
B － B



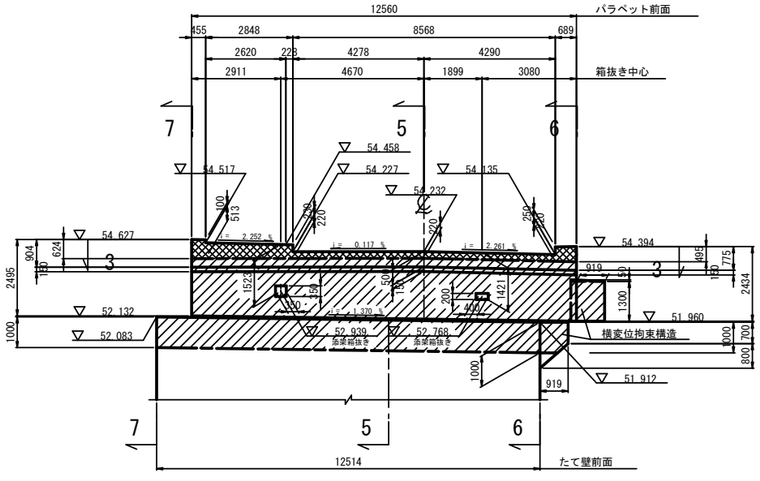
C － C



A － A



1′－ 1′



単位：m

	A1橋台			
	G1	G2	G3	G4
▽路面標高 EL	54.509	54.241	54.238	54.162
▽支承下面高 EL1	52.281	52.237	52.191	52.146
モルタル高 H1	0.038	0.039	0.038	0.038
台座高 H2	0.150	0.150	0.150	0.150
〃 H3	0.112	0.112	0.112	0.112
〃 H4	0.141	0.141	0.141	0.141
〃 H5	0.188	0.188	0.188	0.188
〃 H6	0.159	0.159	0.159	0.159
▽支承線橋座面高 EL2	52.093	52.048	52.003	51.958
設置角度 θ	62° 00′00″	62° 00′00″	62° 00′00″	62° 00′00″

使用材料一覧表

使用区分	コンクリート設計基準強度	鉄筋種別
躯 体	σ_{ck} = 24 N／mm^2	SD345
フーチング	σ_{ck} = 24 N／mm^2	SD345
均しコンクリート	σ_{ck} = 18 N／mm^2	――

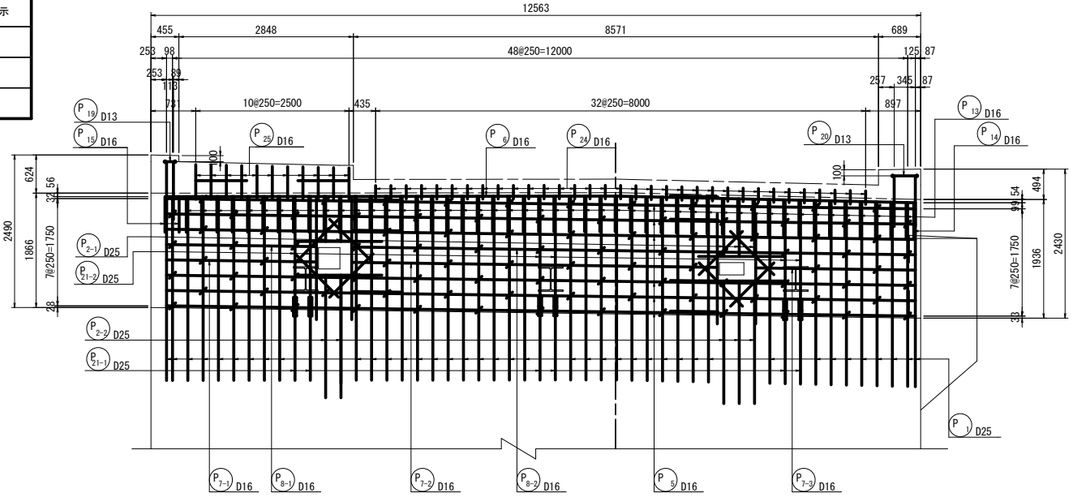
注意事項

1) 沓座面には3.0%排水勾配を設ける事。
2) 地覆天端面には2.0%排水勾配を設ける事。
3) ▩は、二次施工部を示す。
4) ▨は、コンクリート塗装部を示す。

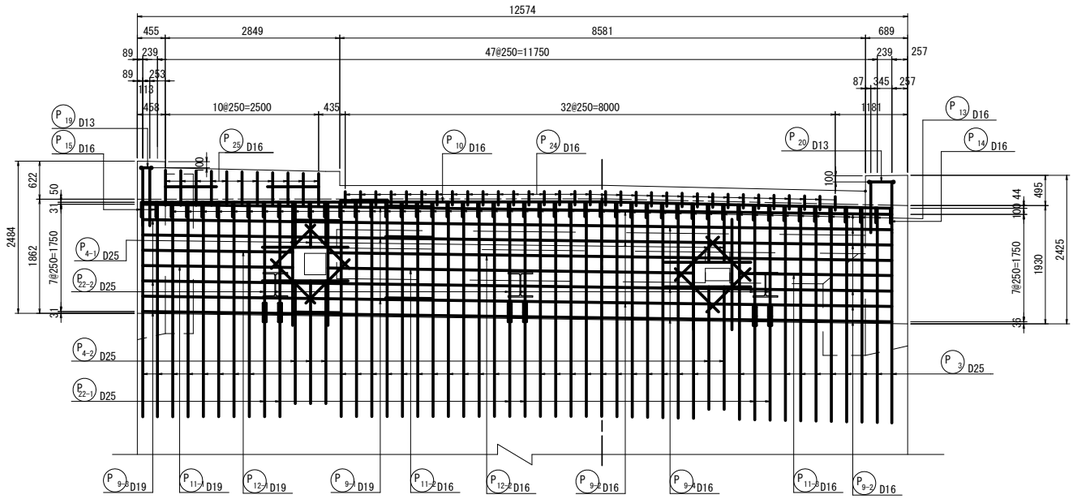
令和 8 年度 橋梁架替（大正橋）工事		
工事番号	線メンテ第 403-1 号	
河川路線 名	中ノ渡十和田線	
施工箇所	青森県十和田市大字沢田 地内	
A1橋台配筋図（その1）	縮尺	図示
図面番号	22 葉中 7	
上北県土整備事務所		
青森県		

A1橋台配筋図（その1） S=1:50

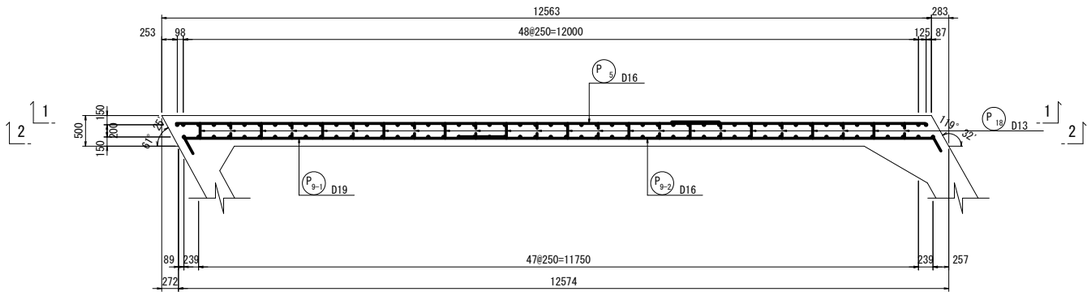
1 － 1



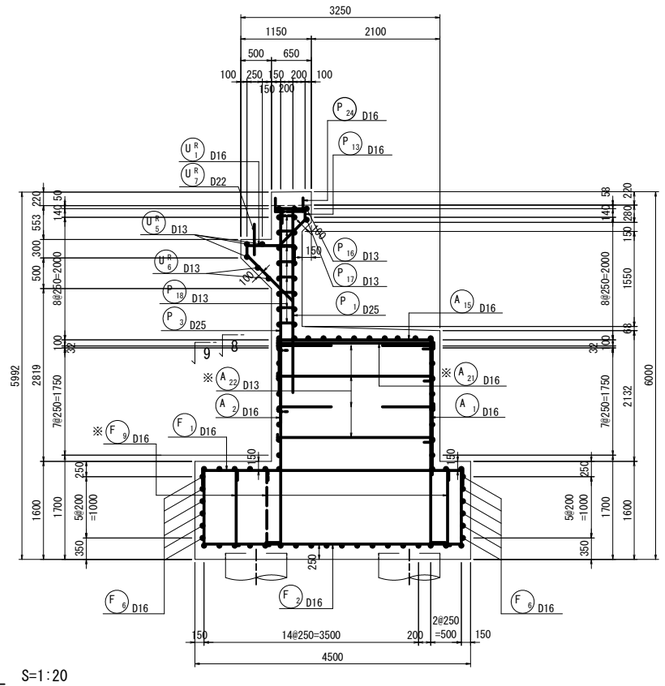
2 － 2



6 － 6

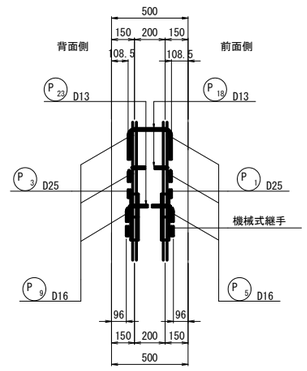


5 － 5

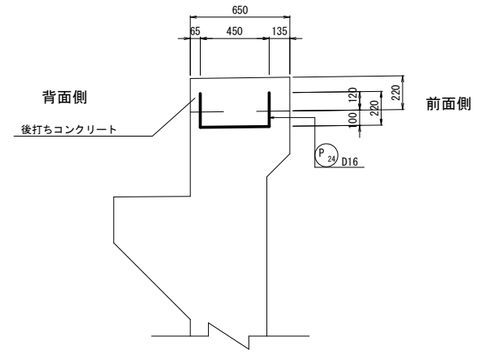


かぶり詳細図 S=1:20

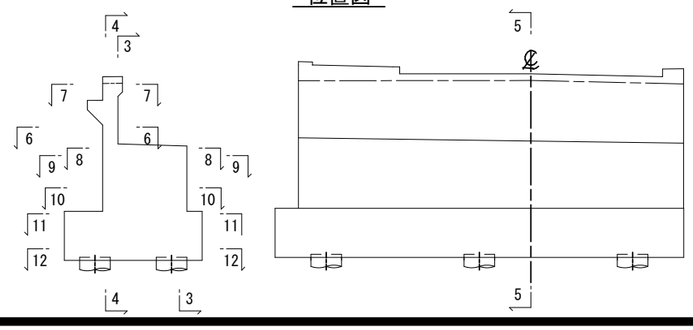
パラペット



伸縮装置補強筋詳細図 S=1:20



位置図



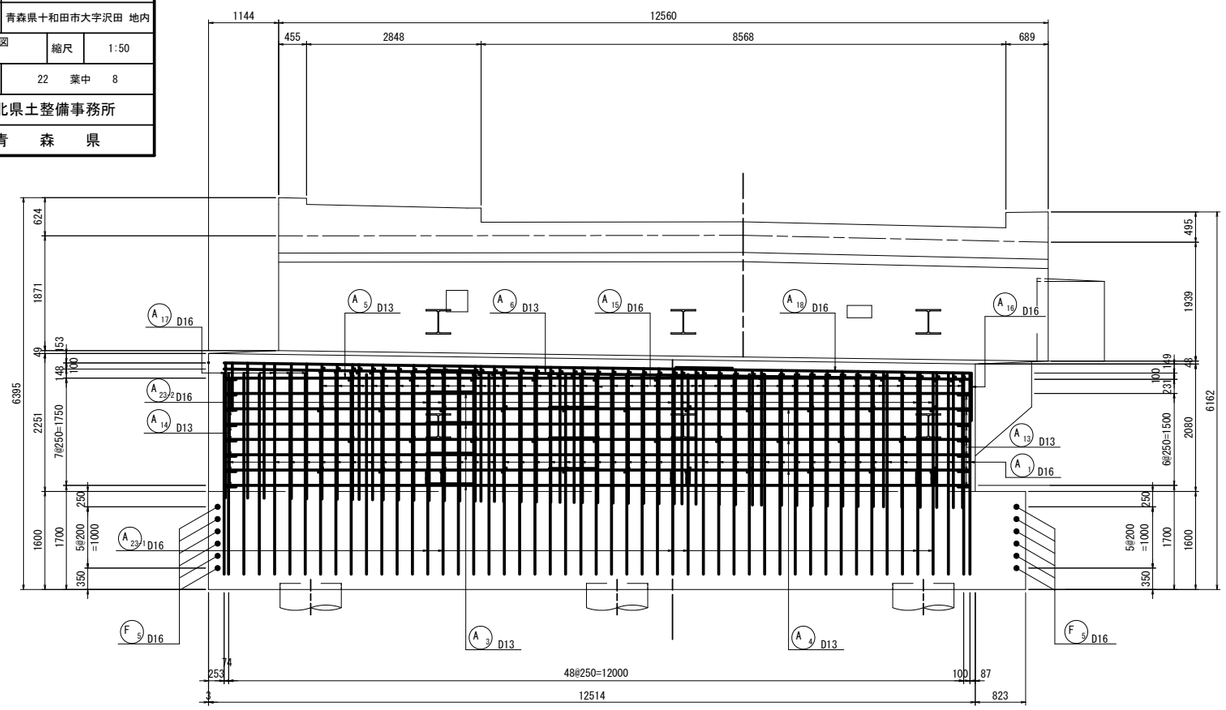
注）※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、
下記の基準を満足すること。

①道路橋示方書・同解説(H29.11 日本道路協会)
②機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて
定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
帯鉄筋重ね継手部には中間帯鉄筋のフックを掛けること。
③機械式定着工法は、建設技術審査証明を取得している
定着工法を採用すること。
(図面表記は一例であり工法を指定するものではない)
④機械式定着工法の鉄筋長は、使用する工法の定着体に
合わせて算出すること。
⑤施工者は、使用製品の性能と施工方法、管理方法の
承認を得て工事を実施すること。

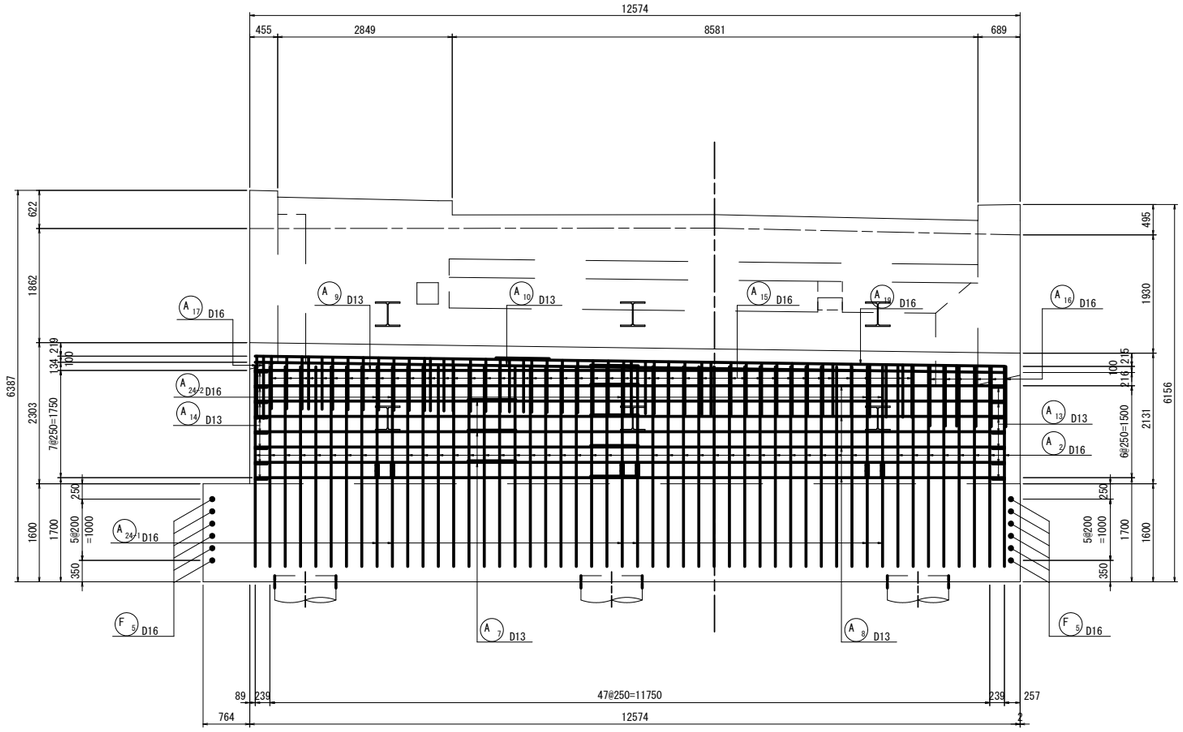
令和 8 年度 橋梁架替（大正橋）工事		
工事番号	線メンテ第 403-1 号	
河川路線名	中ノ渡十和田線	
施工箇所	青森県十和田市大字沢田 地内	
A1橋台配筋図（その2）	縮尺	1:50
図面番号	22 葉中 8	
上北県土整備事務所		
青 森 県		

A1橋台配筋図（その2） S=1:50

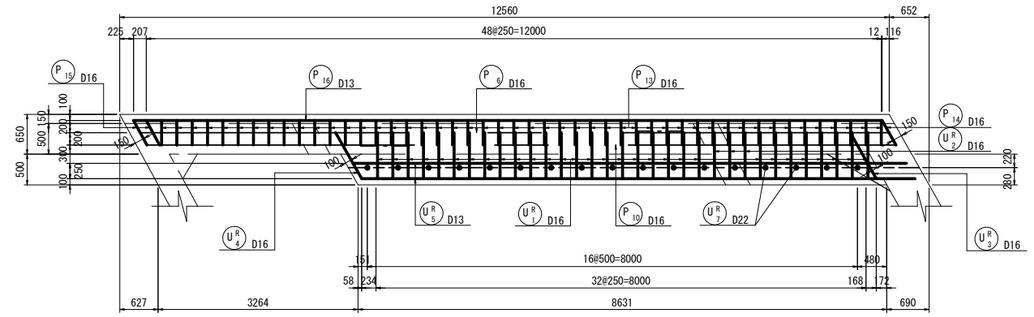
3 － 3



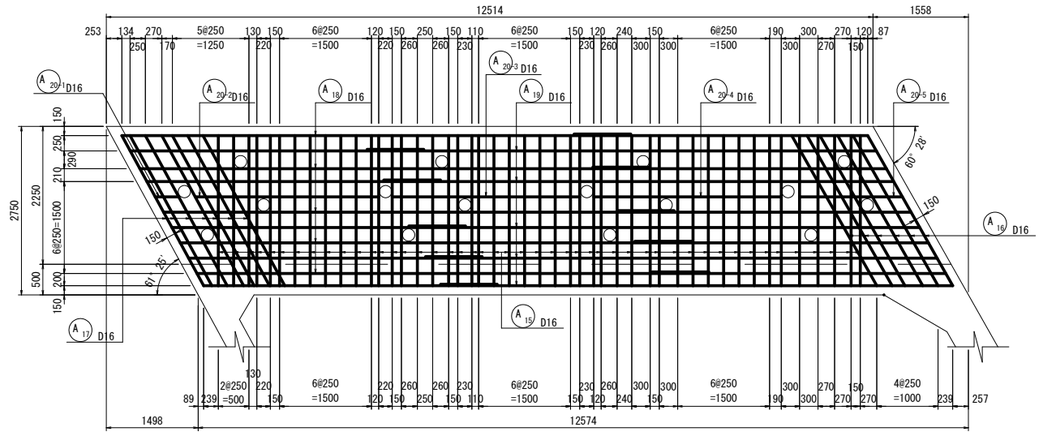
4 － 4



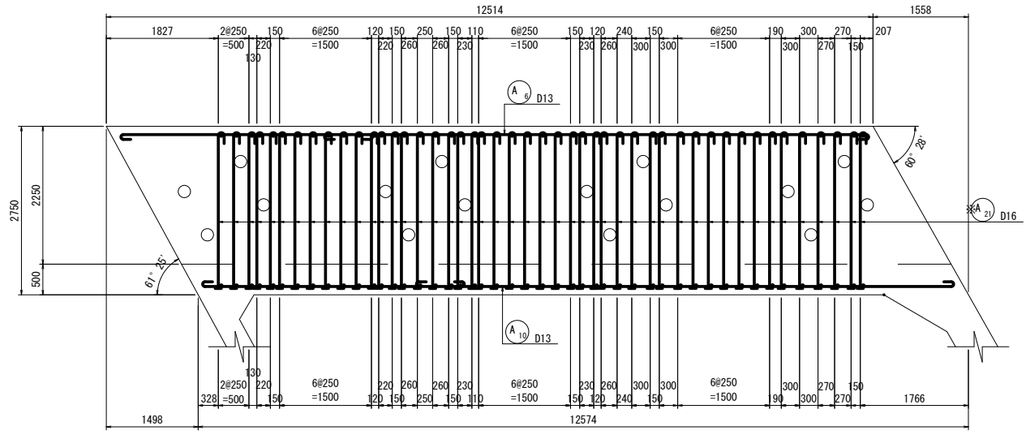
7 － 7



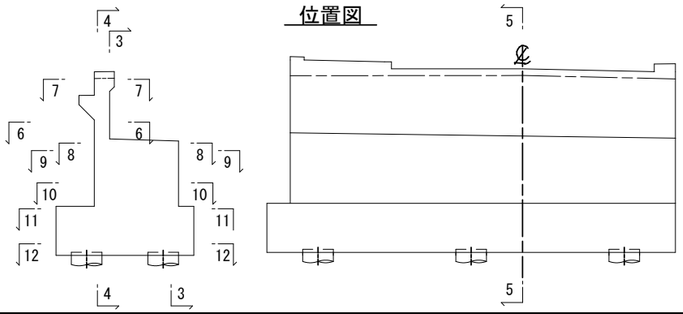
8 － 8



9 － 9



位置図



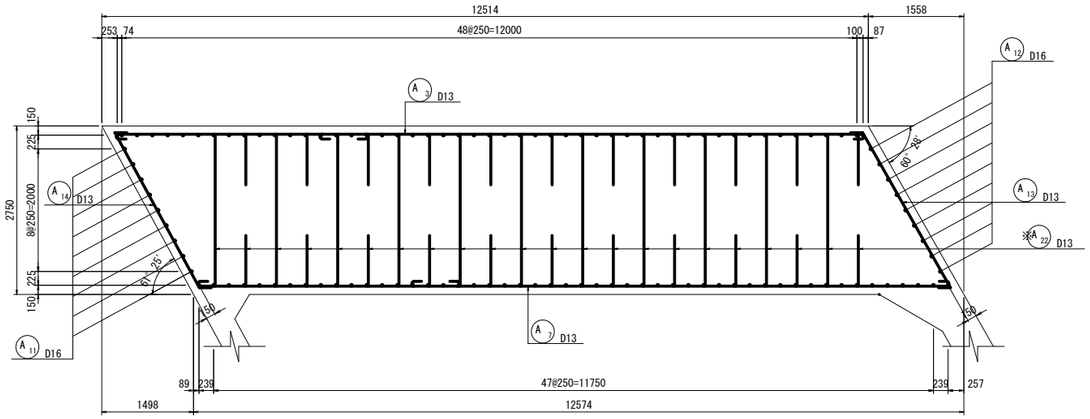
注）※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、
下記の基準を満足すること。

①道路橋示方書・同解説（H29. 11 日本道路協会）
②機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
（H28. 7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会）
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて
定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
帯鉄筋重ね継手部には中間帯鉄筋のフックを掛けること。
③機械式定着工法は、建設技術審査証明を取得している
定着工法を採用すること。
（図面表記は一例であり工法を指定するものではない）
④機械式定着工法の鉄筋長は、使用する工法の定着体に
合わせて算出すること。
⑤施工者は、使用製品の性能と施工方法、管理方法の
承認を得て工事を実施すること。

令和 8 年度 橋梁架替（大正橋）工事			
工事番号	線メンテ第 403-1 号		
河川路線 名	中ノ渡十和田線		
施工箇所	青森県十和田市大字沢田 地内		
A1橋台配筋図（その3）	縮尺	図示	
図面番号	22 葉中 9		
上北県土整備事務所			
青森県			

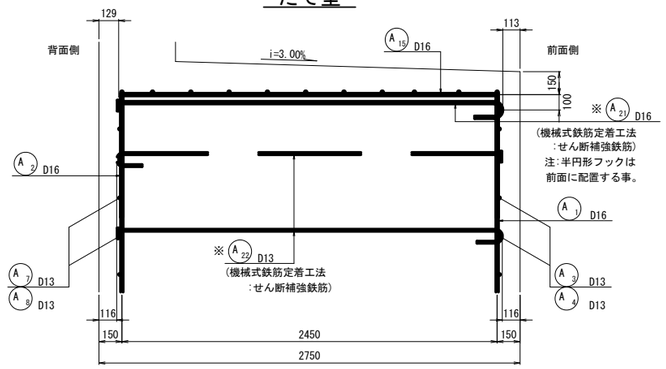
A1橋台配筋図（その3） S=1:50

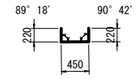
10 － 10



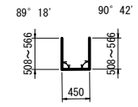
かぶり詳細図 S=1:20

たて壁



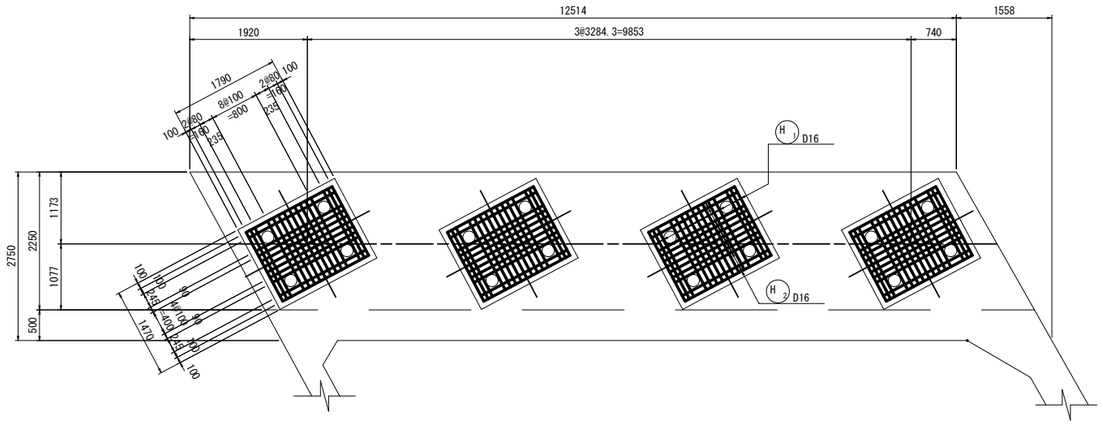


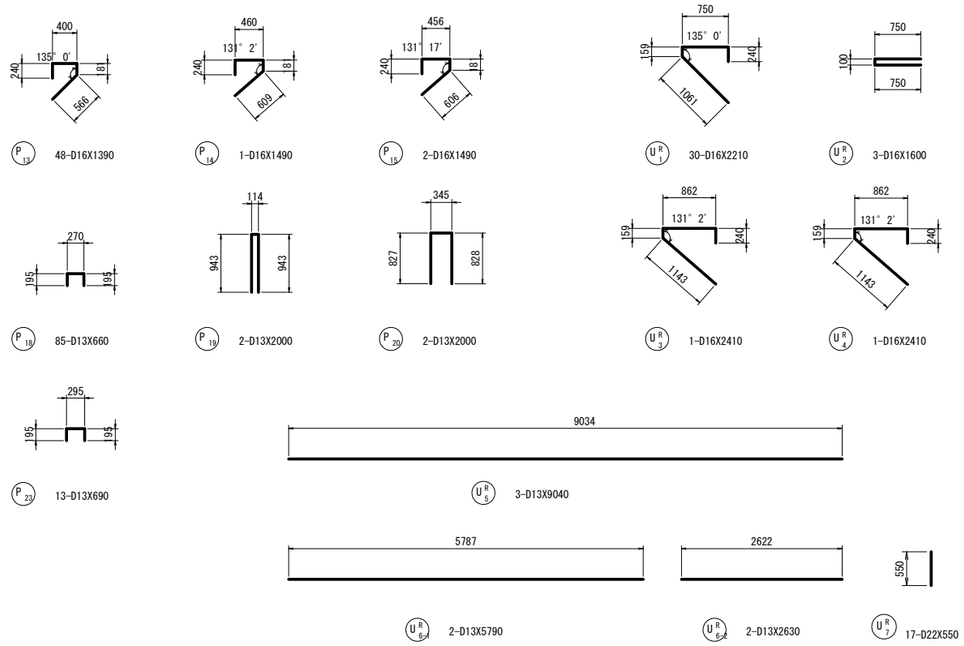
P 24 33-D16X890



P 25 11-D16X1530（平均長）

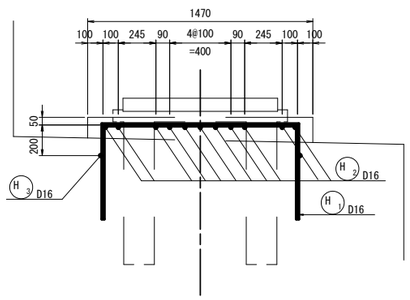
支承部平面図



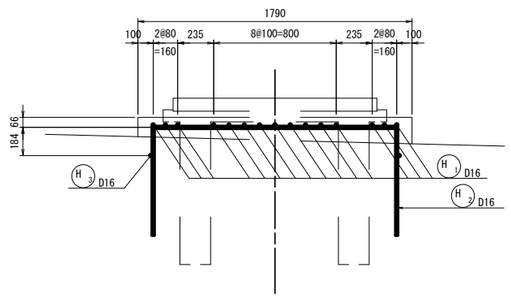


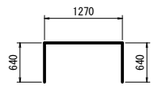
台座詳細図 S=1:20

橋軸方向

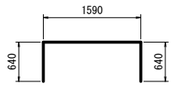


直角方向

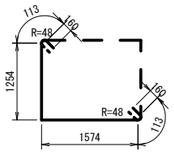




H 1 60-D16X2550



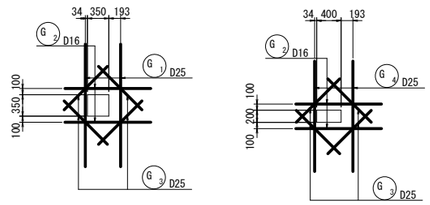
H 2 44-D16X2870



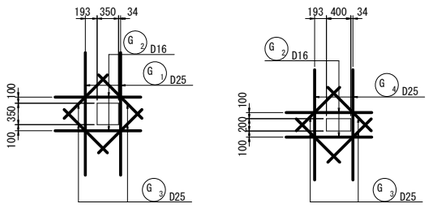
H 3 8-D16X3380

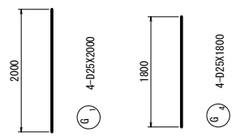
開口部補強筋詳細

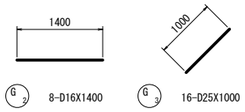
1 － 1



2 － 2

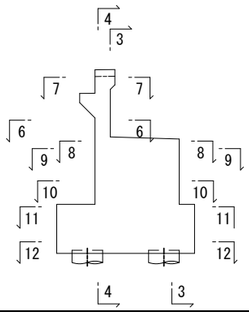






G 2 8-D16X1400　G 3 16-D25X1000

位置図

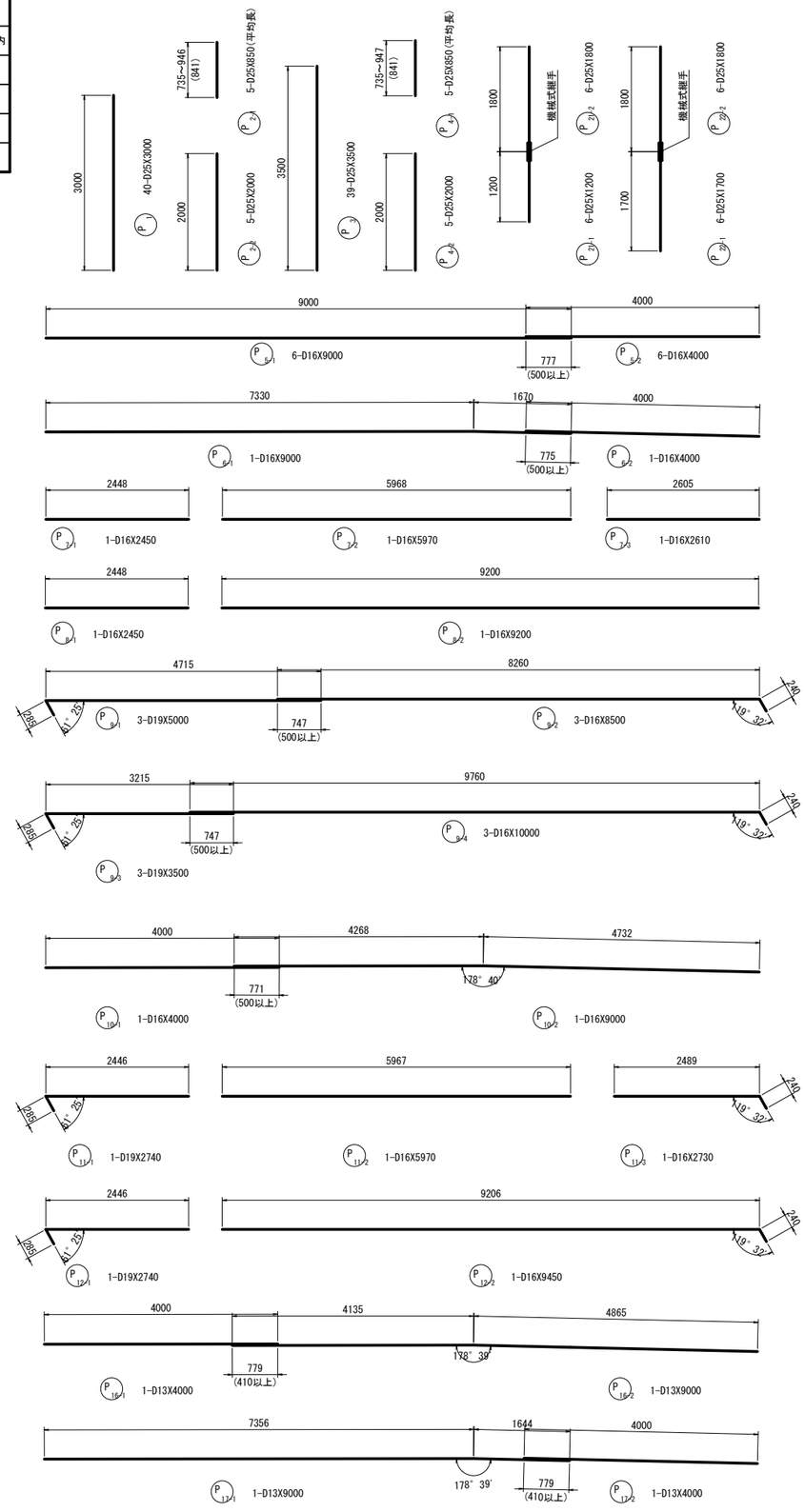


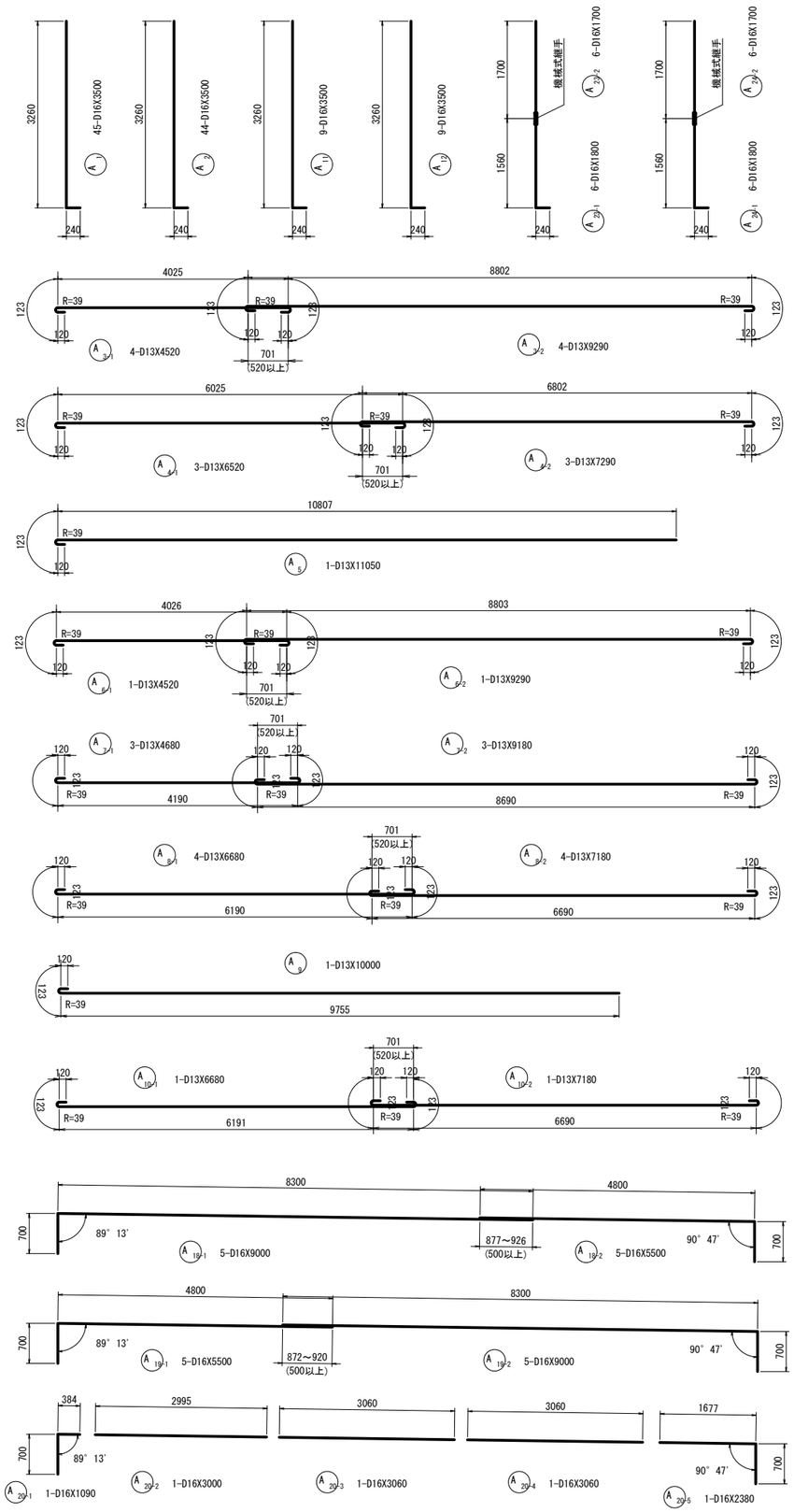
注）※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、
下記の基準を満足すること。

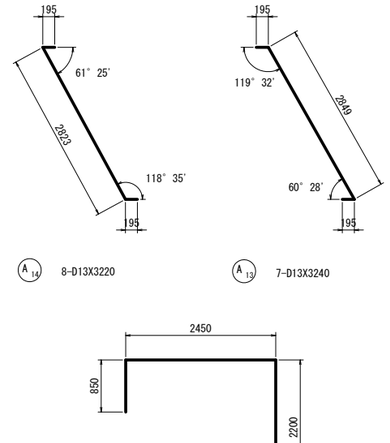
①道路橋示方書・同解説(H29.11 日本道路協会)
②機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて
定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
帯鉄筋重ね継手部には中間帯鉄筋のフックを掛けること。
③機械式定着工法は、建設技術審査証明を取得している
定着工法を採用すること。
(図面表記は一例であり工法を指定するものではない)
④機械式定着工法の鉄筋長は、使用する工法の定着体に
合わせて算出すること。
⑤施工者は、使用製品の性能と施工方法、管理方法の
承認を得て工事を実施すること。

令和 8 年度 橋梁架替（大正橋）工事		
工事番号	線メンテ第 403-1 号	
河 川 路 線 名	中ノ渡十和田線	
施工箇所	青森県十和田市大字沢田 地内	
A1橋台配筋図（その4）	縮尺	1:50
図面番号	22 葉中 10	
上北県土整備事務所		
青 森 県		

A1橋台配筋図（その4） S=1:50







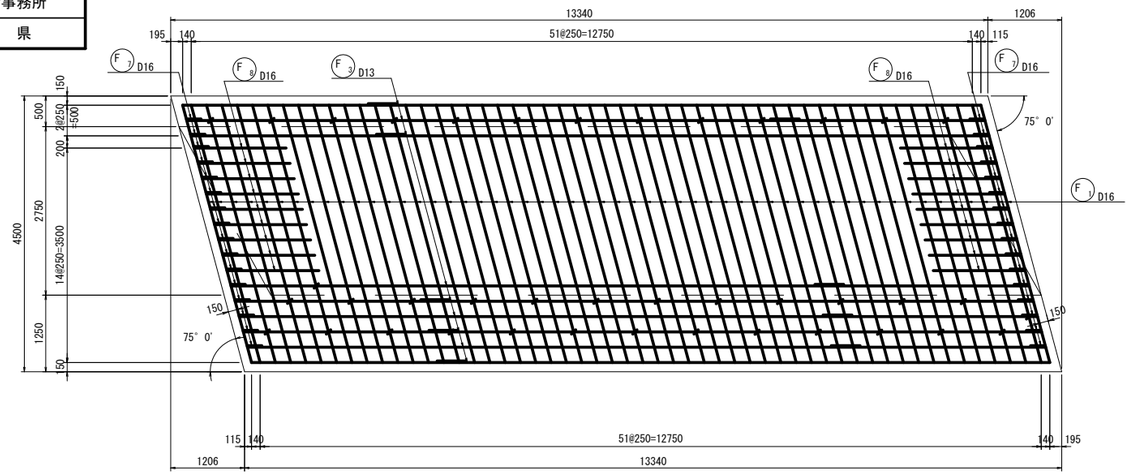
注）※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、
下記の基準を満足すること。

①道路橋示方書・同解説(H29.11 日本道路協会)
②機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて
定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
帯鉄筋重ね継手部には中間帯鉄筋のフックを掛けること。
③機械式定着工法は、建設技術審査証明を取得している
定着工法を採用すること。
(図面表記は一例であり工法を指定するものではない)
④機械式定着工法の鉄筋長は、使用する工法の定着体に
合わせて算出すること。
⑤施工者は、使用製品の性能と施工方法、管理方法の
承認を得て工事を実施すること。

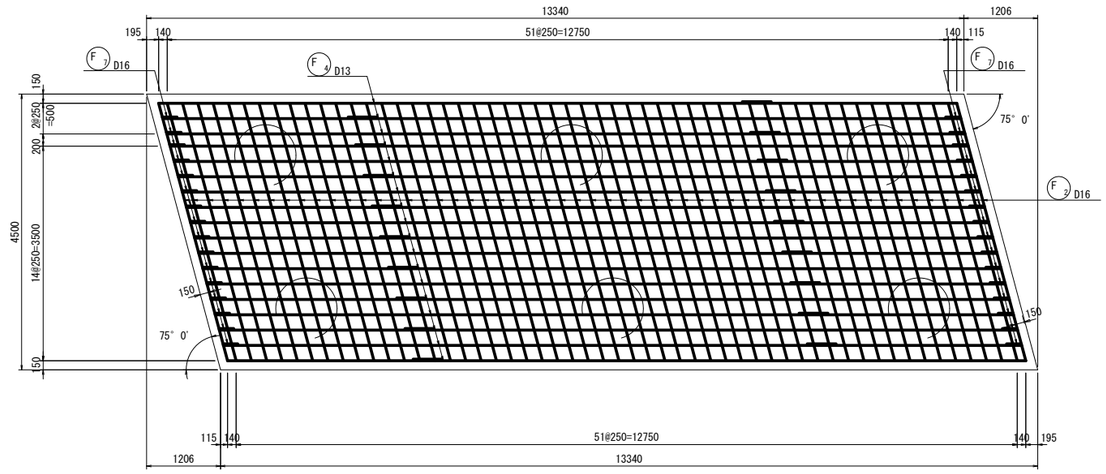
令和 8 年度 橋梁架替（大正橋）工事		
工事番号	線メンテ第 403-1 号	
河 川 路 線 名	中ノ渡十和田線	
施工箇所	青森県十和田市大字沢田 地内	
A1橋台配筋図（その5）	縮尺	図 示
図面番号	22 葉中 11	
上北県土整備事務所		
青 森 県		

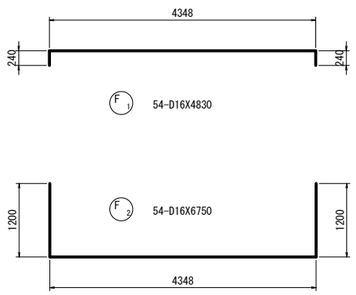
A1橋台配筋図（その5） S=1:50

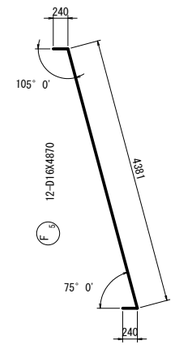
11 - 11



12 - 12

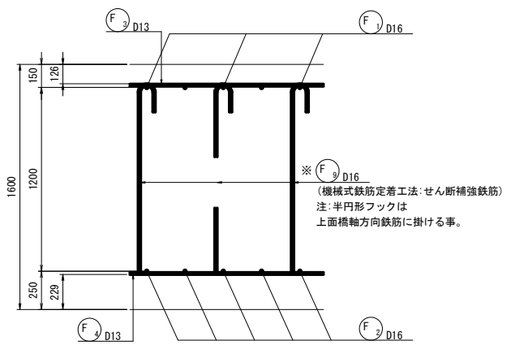




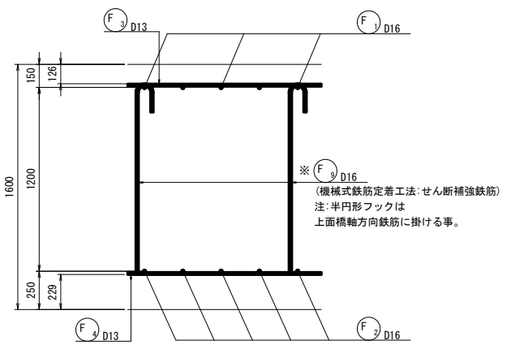


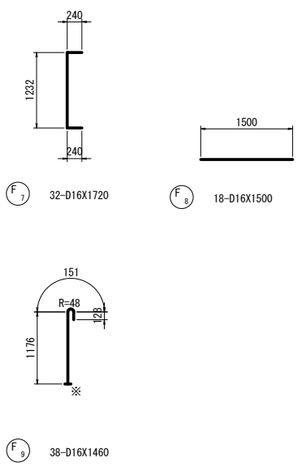
かぶり詳細図 S=1:20
（橋軸方向）

後フーチング

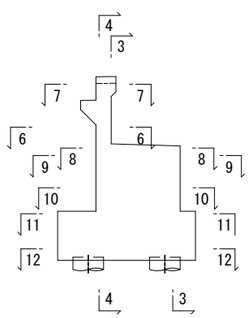


前フーチング





位置図



注）※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、
下記の基準を満足すること。

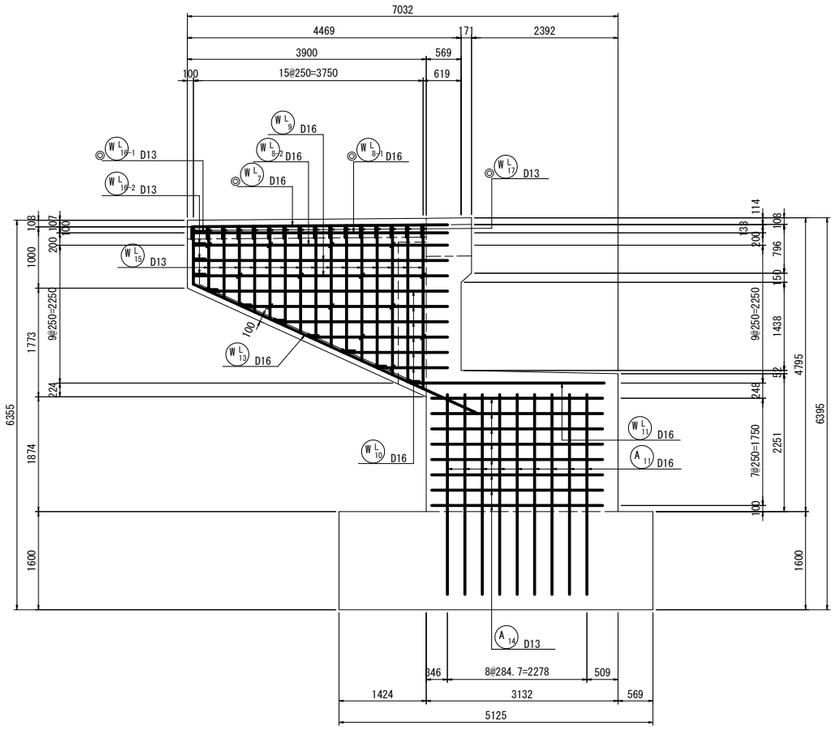
①道路橋示方書・同解説(H29.11 日本道路協会)
②機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて
定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
帯鉄筋重ね継手部には中間帯鉄筋のフックを掛けること。
③機械式定着工法は、建設技術審査証明を取得している
定着工法を採用すること。
(図面表記は一例であり工法を指定するものではない)
④機械式定着工法の鉄筋長は、使用する工法の定着体に
合わせて算出すること。
⑤施工者は、使用製品の性能と施工方法、管理方法の
承認を得て工事を実施すること。

注）底版鉄筋と杭頭鉄筋が干渉する場合、鉄筋を避けた配置とすること。
その際、1m当たり5cm2以上の鉄筋を確保した配筋とすること。

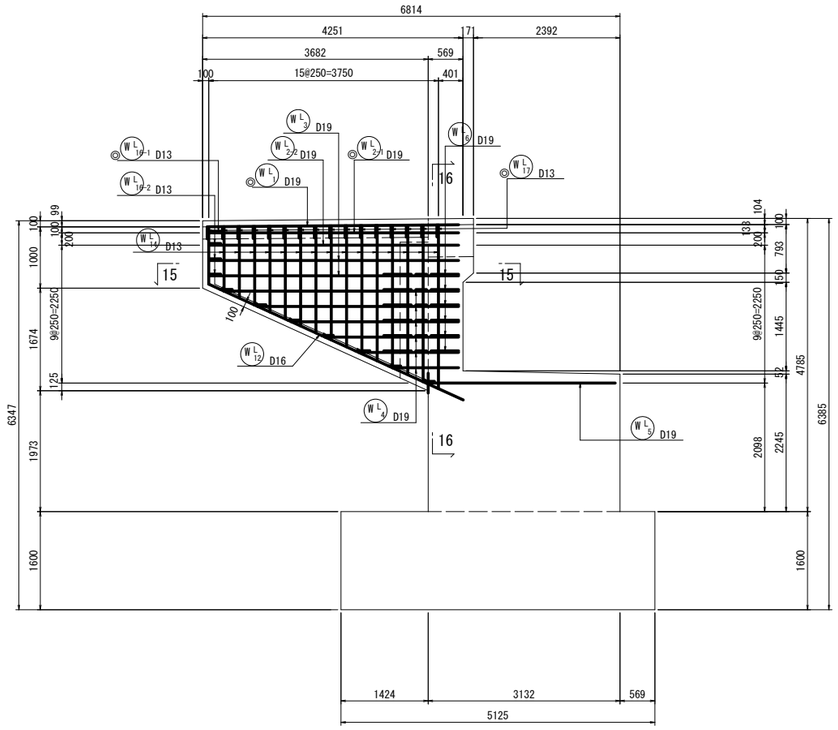
令和 8 年度 橋梁架替（大正橋）工事		
工事番号	線メンテ第 403-1 号	
河 川 路 線 名	中ノ渡十和田線	
施工箇所	青森県十和田市大字沢田 地内	
A1橋台配筋図（その6）	縮尺	図 示
図面番号	22 葉中 12	
上北県土整備事務所		
青 森 県		

A1橋台配筋図（その6） S=1:50

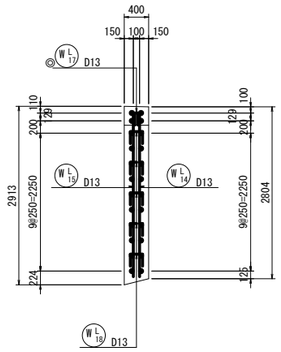
13 － 13



14 － 14

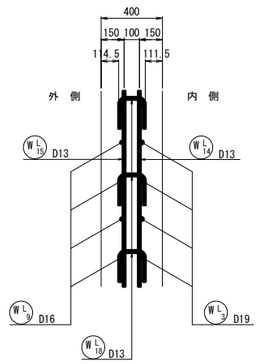


16 － 16

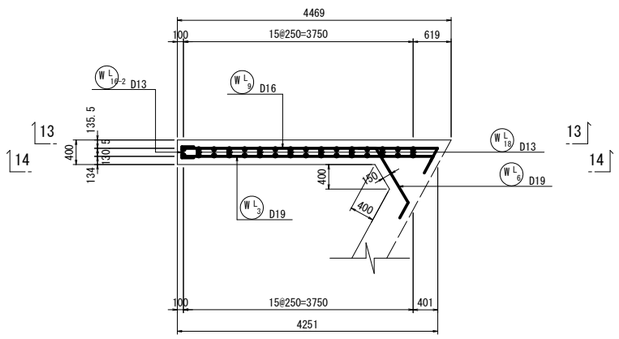


かぶり詳細図 S=1:20

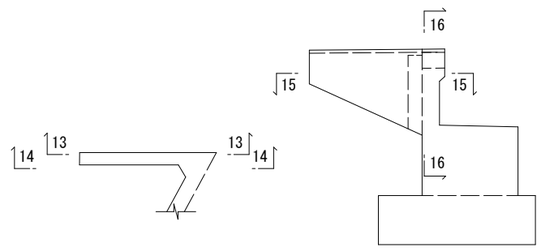
左ウィング



15 － 15



位置図

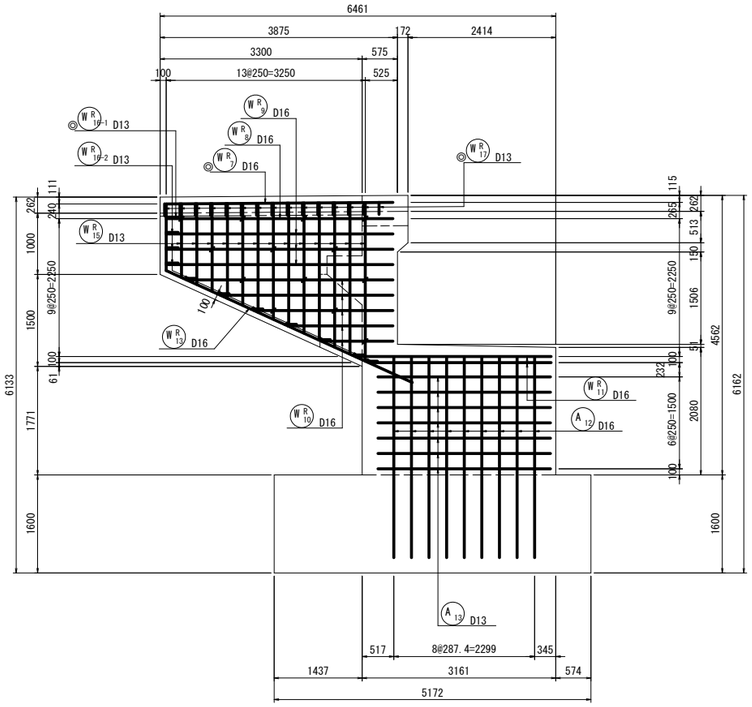


注）◎印表記は2次施工鉄筋を示す。

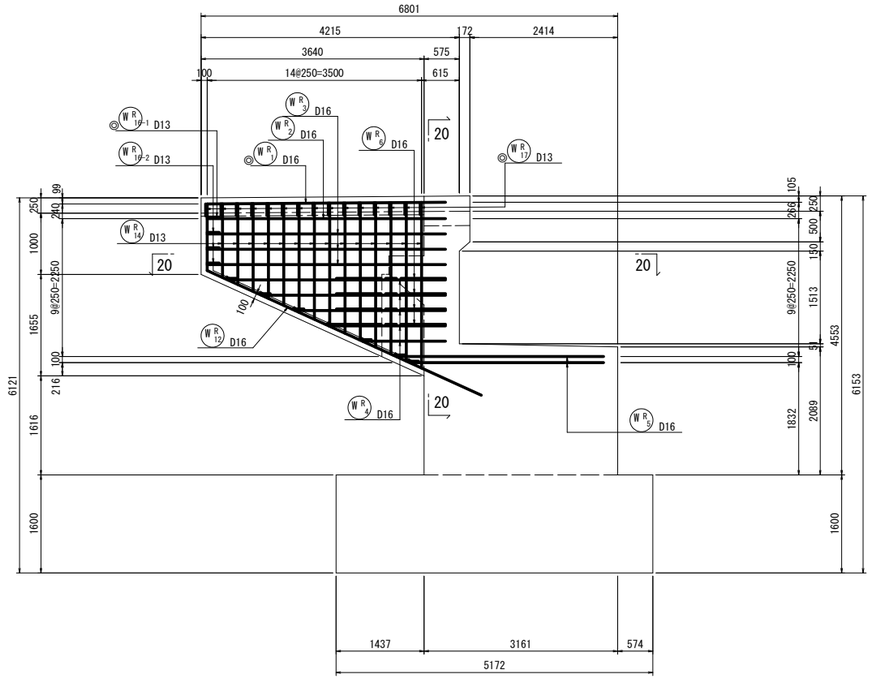
令和 8 年度 橋梁架替（大正橋）工事		
工事番号	線メンテ第 403-1 号	
河川路線名	中ノ渡十和田線	
施工箇所	青森県十和田市大字沢田 地内	
A1橋台配筋図（その7）	縮尺	図示
図面番号	22 葉中 13	
上北県土整備事務所		
青森県		

A1橋台配筋図（その7） S=1:50

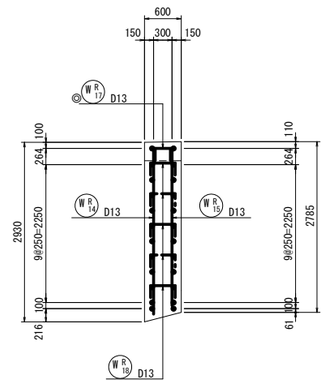
17 － 17



18 － 18

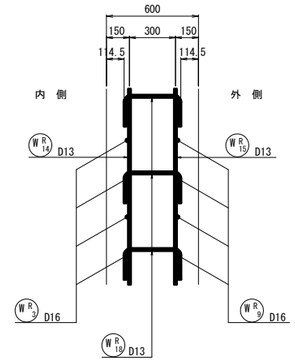


20 － 20

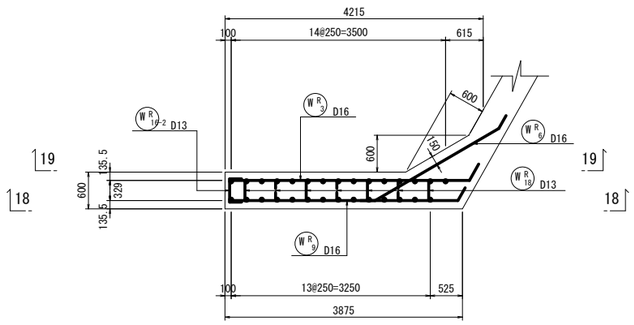


かぶり詳細図 S=1:20

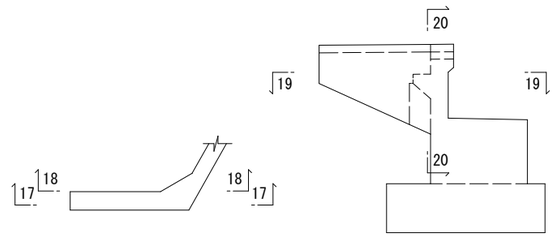
右ウィング



19 － 19



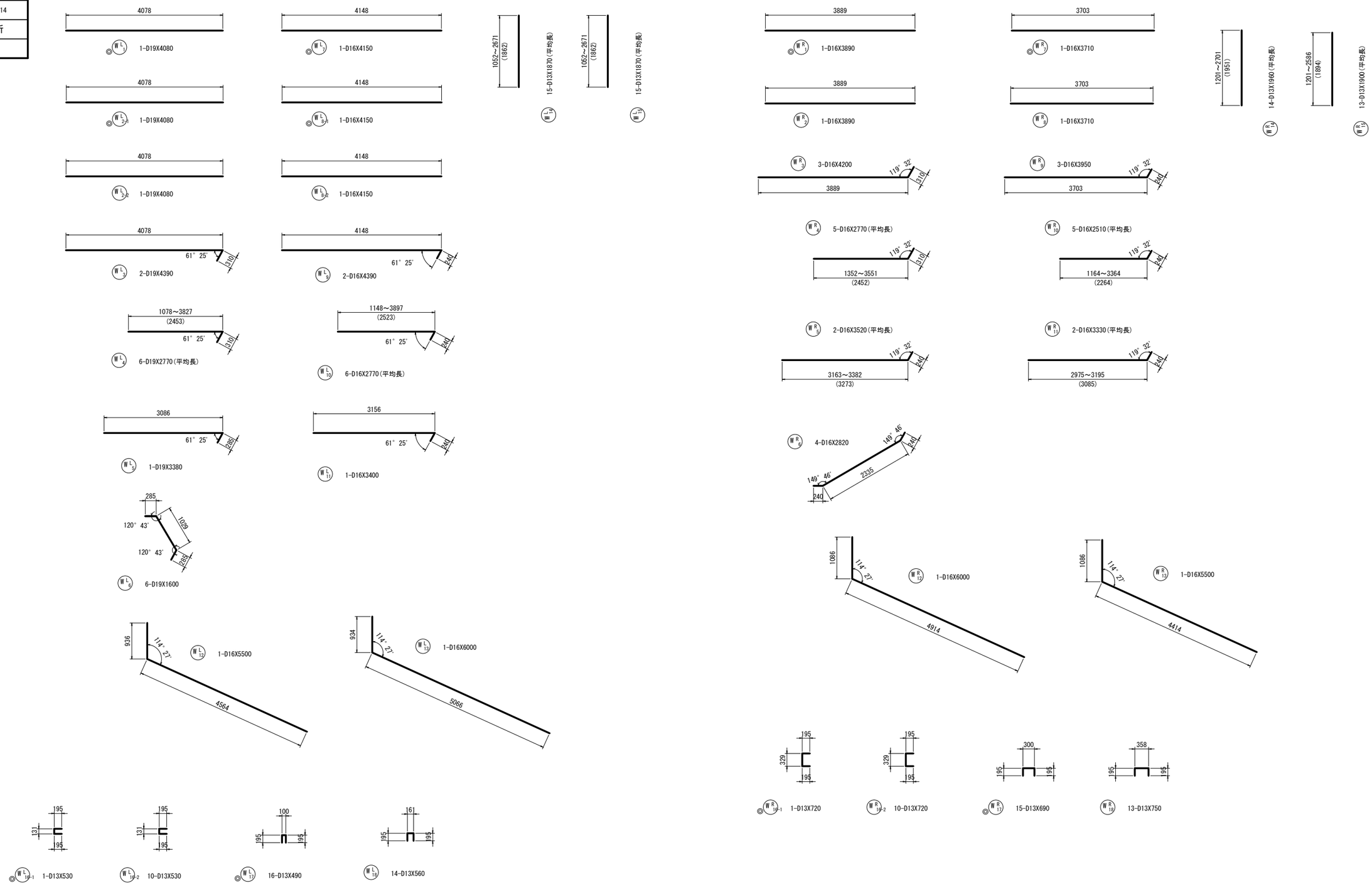
位置図



注）◎印表記は2次施工鉄筋を示す。

令和 8 年度 橋梁架替（大正橋）工事		
工事番号	線メンテ第 403-1 号	
河川路線名	中ノ渡十和田線	
施工箇所	青森県十和田市大字沢田 地内	
A1橋台配筋図（その8）	縮尺	1:50
図面番号	22 葉中 14	
上北県土整備事務所		
青 森 県		

A1橋台配筋図（その8） S=1:50



注）◎印表記は2次施工鉄筋を示す。

令和 8 年度 橋梁架替（大正橋）工事		
工事番号	線メンテ第 403-1 号	
河川路線名	中ノ渡十和田線	
施工箇所	青森県十和田市大字沢田 地内	
A1橋台配筋図（その9）	縮尺	1:50
図面番号	22 葉中 15	
上北県土整備事務所		
青 森 県		

A1橋台配筋図（その9） S=1:50

鉄筋質量表（一次施工）

(SD345)

種別	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	摘要
P1	D25	3000	40	3.98	11.94	478	
P2-1	D25	850	5	3.98	3.38	17	(平均長)
P2-2	D25	2000	5	3.98	7.96	40	
P3	D25	3500	39	3.98	13.93	543	
P4-1	D25	850	5	3.98	3.38	17	(平均長)
P4-2	D25	2000	5	3.98	7.96	40	
P5-1	D16	9000	6	1.56	14.04	84	
P5-2	D16	4000	6	1.56	6.24	37	
P6-1	D16	9000	1	1.56	14.04	14	
P6-2	D16	4000	1	1.56	6.24	6	
P7-1	D16	2450	1	1.56	3.82	4	
P7-2	D16	5970	1	1.56	9.31	9	
P7-3	D16	2610	1	1.56	4.07	4	
P8-1	D16	2450	1	1.56	3.82	4	
P8-2	D16	9200	1	1.56	14.35	14	
P9-1	D19	5000	3	2.25	11.25	34	
P9-2	D16	8500	3	1.56	13.26	40	
P9-3	D19	3500	3	2.25	7.88	24	
P9-4	D16	10000	3	1.56	15.60	47	
P10-1	D16	4000	1	1.56	6.24	6	
P10-2	D16	9000	1	1.56	14.04	14	
P11-1	D19	2740	1	2.25	6.17	6	
P11-2	D16	5970	1	1.56	9.31	9	
P11-3	D16	2730	1	1.56	4.26	4	
P12-1	D19	2740	1	2.25	6.17	6	
P12-2	D16	9450	1	1.56	14.74	15	
P13	D16	1390	48	1.56	2.17	104	
P14	D16	1490	1	1.56	2.32	2	
P15	D16	1490	2	1.56	2.32	5	
P16-1	D13	4000	1	0.995	3.98	4	
P16-2	D13	9000	1	0.995	8.96	9	
P17-1	D13	9000	1	0.995	8.96	9	
P17-2	D13	4000	1	0.995	3.98	4	
P18	D13	660	85	0.995	0.66	56	
P19	D13	2000	2	0.995	1.99	4	
P20	D13	2000	2	0.995	1.99	4	
P21-1	D25	1200	6	3.98	4.78	29	〈6〉
P21-2	D25	1800	6	3.98	7.16	43	
P22-1	D25	1700	6	3.98	6.77	41	〈6〉
P22-2	D25	1800	6	3.98	7.16	43	
P23	D13	690	13	0.995	0.69	9	
P24	D16	890	33	1.56	1.39	46	
P25	D16	1530	11	1.56	2.39	26	(平均長)
					小計	1954	kg
UR1	D16	2210	30	1.56	3.45	104	
UR2	D16	1600	3	1.56	2.50	8	
UR3	D16	2410	1	1.56	3.76	4	
UR4	D16	2410	1	1.56	3.76	4	
UR5	D13	9040	3	0.995	8.99	27	
UR6-1	D13	5790	2	0.995	5.76	12	
UR6-2	D13	2630	2	0.995	2.62	5	
UR7	D22	550	17	3.04	1.67	28	
					小計	192	kg
H1	D16	2550	60	1.56	3.98	239	
H2	D16	2870	44	1.56	4.48	197	
H3	D16	3380	8	1.56	5.27	42	
					小計	478	kg
G1	D25	2000	4	3.98	7.96	32	
G2	D16	1400	8	1.56	2.18	17	
G3	D25	1000	16	3.98	3.98	64	
G4	D25	1800	4	3.98	7.16	29	
					小計	142	kg

(SD345)

種別	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	摘要
A1	D16	3500	45	1.56	5.46	246	
A2	D16	3500	44	1.56	5.46	240	
A3-1	D13	4520	4	0.995	4.50	18	
A3-2	D13	9290	4	0.995	9.24	37	
A4-1	D13	6520	3	0.995	6.49	19	
A4-2	D13	7290	3	0.995	7.25	22	
A5	D13	11050	1	0.995	10.99	11	
A6-1	D13	4520	1	0.995	4.50	5	
A6-2	D13	9290	1	0.995	9.24	9	
A7-1	D13	4680	3	0.995	4.66	14	
A7-2	D13	9180	3	0.995	9.13	27	
A8-1	D13	6680	4	0.995	6.65	27	
A8-2	D13	7180	4	0.995	7.14	29	
A9	D13	10000	1	0.995	9.95	10	
A10-1	D13	6680	1	0.995	6.65	7	
A10-2	D13	7180	1	0.995	7.14	7	
A11	D16	3500	9	1.56	5.46	49	
A12	D16	3500	9	1.56	5.46	49	
A13	D13	3240	7	0.995	3.22	23	
A14	D13	3220	8	0.995	3.20	26	
A15	D16	5500	47	1.56	8.58	403	
A16	D16	6000	6	1.56	9.36	56	
A17	D16	6000	7	1.56	9.36	66	
A18-1	D16	9000	5	1.56	14.04	70	
A18-2	D16	5500	5	1.56	8.58	43	
A19-1	D16	5500	5	1.56	8.58	43	
A19-2	D16	9000	5	1.56	14.04	70	
A20-1	D16	1090	1	1.56	1.70	2	
A20-2	D16	3000	1	1.56	4.68	5	
A20-3	D16	3060	1	1.56	4.77	5	
A20-4	D16	3060	1	1.56	4.77	5	
A20-5	D16	2380	1	1.56	3.71	4	
A21	D16	2740	47	1.56	4.27	201	《47》※
A22	D13	2710	39	0.995	2.70	105	《39》※
A23-1	D16	1800	6	1.56	2.81	17	〈6〉
A23-2	D16	1700	6	1.56	2.65	16	
A24-1	D16	1800	6	1.56	2.81	17	〈6〉
A24-2	D16	1700	6	1.56	2.65	16	
					小計	2019	kg
F1	D16	4830	54	1.56	7.53	407	
F2	D16	6750	54	1.56	10.53	569	
F3-1	D13	10000	9	0.995	9.95	90	
F3-2	D13	3500	9	0.995	3.48	31	
F4-1	D13	10000	18	0.995	9.95	179	
F4-2	D13	3500	18	0.995	3.48	63	
F5	D16	4870	12	1.56	7.60	91	
F6-1	D16	10000	12	1.56	15.60	187	
F6-2	D16	4000	12	1.56	6.24	75	
F7	D16	1720	32	1.56	2.68	86	
F8	D16	1500	18	1.56	2.34	42	
F9	D16	1460	38	1.56	2.28	87	《38》※
					小計	1907	kg
WL2-2	D19	4080	1	2.25	9.18	9	
WL3	D19	4390	2	2.25	9.88	20	
WL4	D19	2770	6	2.25	6.23	37	(平均長)
WL5	D19	3380	1	2.25	7.61	8	
WL6	D19	1600	6	2.25	3.60	22	
WL8-2	D16	4150	1	1.56	6.47	6	
WL9	D16	4390	2	1.56	6.85	14	
WL10	D16	2770	6	1.56	4.32	26	(平均長)
WL11	D16	3400	1	1.56	5.30	5	
WL12	D16	5500	1	1.56	8.58	9	
WL13	D16	6000	1	1.56	9.36	9	
WL14	D13	1870	15	0.995	1.86	28	(平均長)
WL15	D13	1870	15	0.995	1.86	28	(平均長)
WL 16-2	D13	530	10	0.995	0.53	5	
WL18	D13	560	14	0.995	0.56	8	
					小計	234	kg

(SD345)

種別	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	摘要
WR2	D16	3890	1	1.56	6.07	6	
WR3	D16	4200	3	1.56	6.55	20	
WR4	D16	2770	5	1.56	4.32	22	(平均長)
WR5	D16	3520	2	1.56	5.49	11	(平均長)
WR6	D16	2820	4	1.56	4.40	18	
WR8	D16	3710	1	1.56	5.79	6	
WR9	D16	3950	3	1.56	6.16	18	
WR10	D16	2510	5	1.56	3.92	20	(平均長)
WR11	D16	3330	2	1.56	5.19	10	(平均長)
WR12	D16	6000	1	1.56	9.36	9	
WR13	D16	5500	1	1.56	8.58	9	
WR14	D13	1960	14	0.995	1.95	27	(平均長)
WR15	D13	1900	13	0.995	1.89	25	(平均長)
WR 16-2	D13	720	10	0.995	0.72	7	
WR18	D13	750	13	0.995	0.75	10	
					小計	218	kg

鉄筋質量表（二次施工）

(SD345)

種別	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	摘要
WL1	D19	4080	1	2.25	9.18	9	
WL2-1	D19	4080	1	2.25	9.18	9	
WL7	D16	4150	1	1.56	6.47	6	
WL8-1	D16	4150	1	1.56	6.47	6	
WL 16-1	D13	530	1	0.995	0.53	1	
WL17	D13	490	16	0.995	0.49	8	
					小計	39	kg
WR1	D16	3890	1	1.56	6.07	6	
WR7	D16	3710	1	1.56	5.79	6	
WR 16-1	D13	720	1	0.995	0.72	1	
WR17	D13	690	15	0.995	0.69	10	
					小計	23	kg

鉄筋集計表（一次施工）

径		SD345 (kg)	圧接箇所数	機械式継手箇所数	機械式鉄筋定着箇所数
D10					
D13		1040			39
D16 ～ D25	D16	4494		12	85
	D19	166			
	D22	28			
	D25	1416		12	
	小計	6104		24	85
D29 ～ D32	D29				
	D32				
	小計				
D35					
D38					
D41					
D51					
合計		7144		24	124

鉄筋集計表（二次施工）

径		SD345 (kg)	圧接箇所数	機械式継手箇所数	機械式鉄筋定着箇所数
D10					
D13		20			
D16 ～ D25	D16	24			
	D19	18			
	D22				
	D25				
	小計	42			
D29 ～ D32	D29				
	D32				
	小計				
D35					
D38					
D41					
D51					
合計		62			

注）※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、
下記の基準を満足すること。

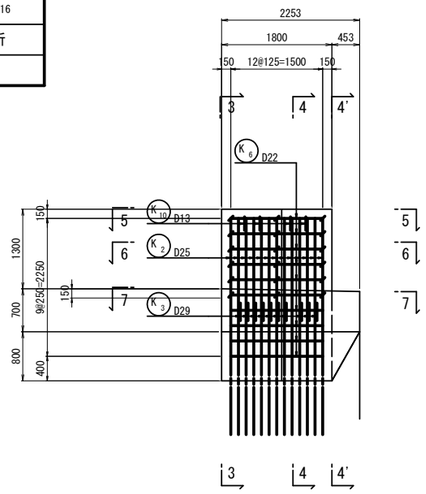
①道路橋示方書・同解説(H29.11 日本道路協会)
②機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて
定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
帯鉄筋重ね継手部には中間帯鉄筋のフックを掛けること。
③機械式定着工法は、建設技術審査証明を取得している
定着工法を採用すること。
(図面表記は一例であり工法を指定するものではない)
④機械式定着工法の鉄筋長は、使用する工法の定着体に
合わせて算出すること。
⑤施工者は、使用製品の性能と施工方法、管理方法の
承認を得て工事を実施すること。

令和 8 年度 橋梁架替（大正橋）工事			
工事番号	線メンテ第 403-1 号		
河川路線名	中ノ渡十和田線		
施工箇所	青森県十和田市大字沢田 地内		
A1橋台横変位拘束構造配筋図(その1)	縮尺	1:50	
図面番号	22 葉中 16		
上北県土整備事務所			
青 森 県			

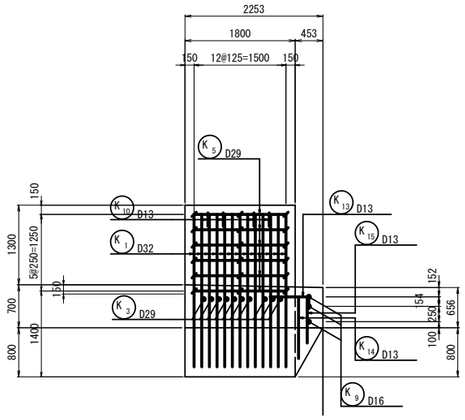
A1橋台横変位拘束構造配筋図(その1)

S=1:50

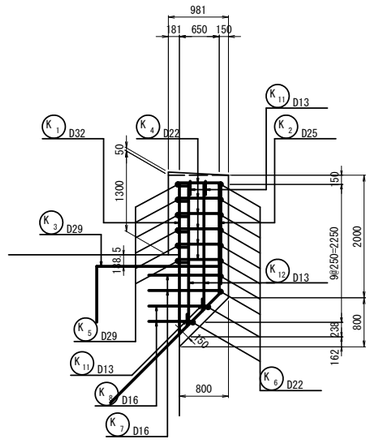
1 － 1



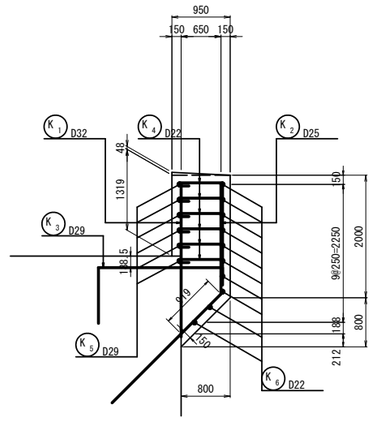
2 － 2



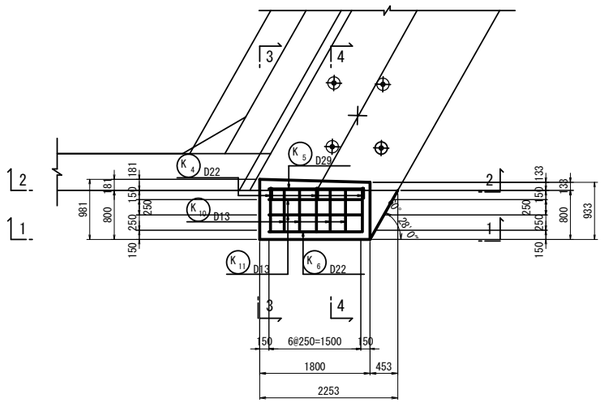
3 － 3



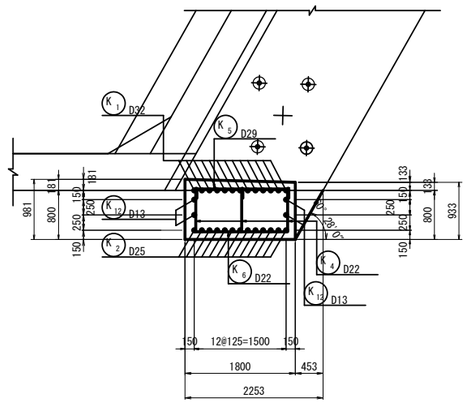
4 － 4



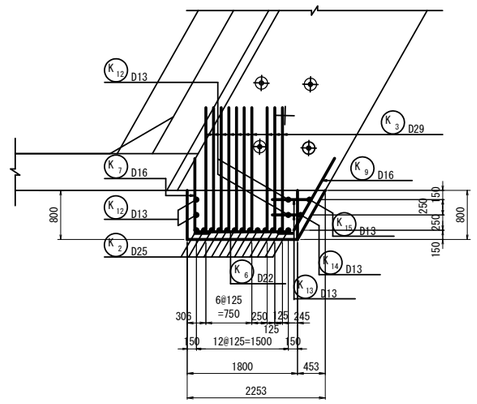
5 － 5



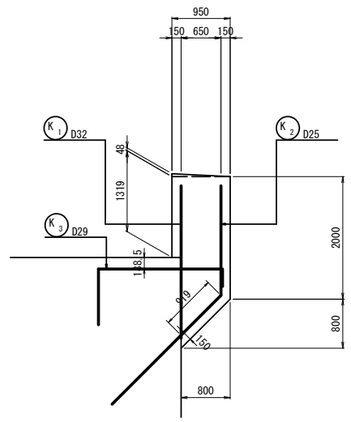
6 － 6



7 － 7



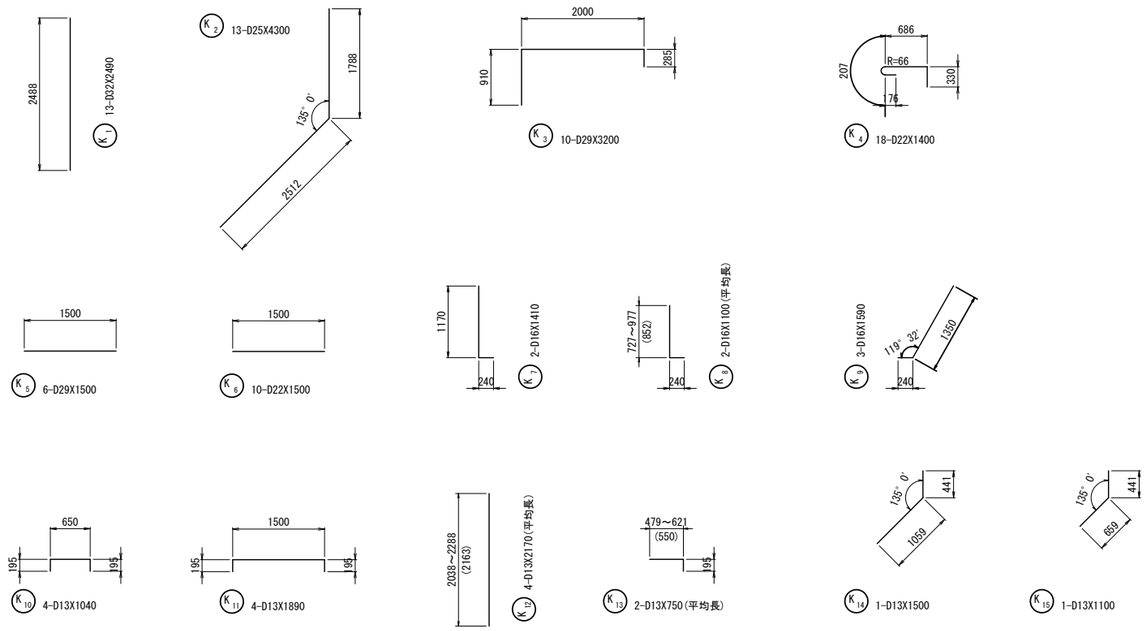
4'－4'



令和 8 年度 橋梁架替（大正橋）工事		
工事番号	線メンテ第 403-1 号	
河川 路線 名	中ノ渡十和田線	
施工箇所	青森県十和田市大字沢田 地内	
A1橋台横変位拘束構造配筋図(その2)	縮尺	図示
図面番号	22 葉中 17	
上北県土整備事務所		
青森県		

A1橋台横変位拘束構造配筋図(その2)

S=1:50



鉄筋表

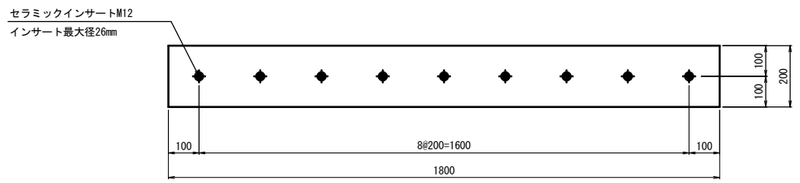
種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
K 1	D32	2490	13	6.23	15.51	202	
2	D25	4300	13	3.98	17.11	222	
3	D29	3200	10	5.04	16.13	161	
4	D22	1400	18	3.04	4.26	77	
5	D29	1500	6	5.04	7.56	45	
6	D22	1500	10	3.04	4.56	46	
7	D16	1410	2	1.56	2.20	4	
8	〃	1100	2	〃	1.72	3	平均長
9	〃	1590	3	〃	2.48	7	
10	D13	1040	4	0.995	1.03	4	
11	〃	1890	4	〃	1.88	8	
12	〃	2170	4	〃	2.16	9	平均長
13	〃	750	2	〃	0.75	2	平均長
14	〃	1500	1	〃	1.49	1	
15	〃	1100	1	〃	1.09	1	
						792 kg	

D32	202	kg
D29	206	kg
D25	222	kg
D22	123	kg
D19	0	kg
D16	14	kg
D13	25	kg
合計	792	kg

緩衝ゴム詳細図

S=1:10

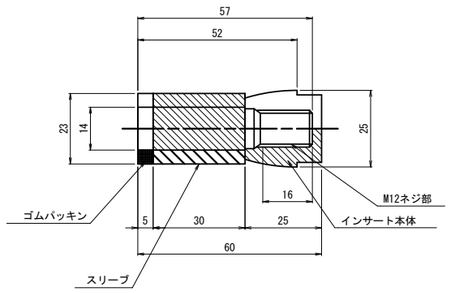
材質：クロロプレンゴム



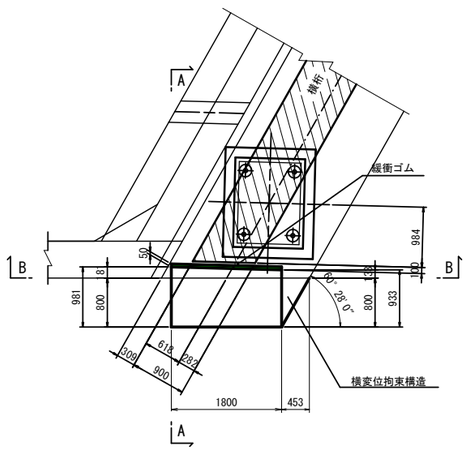
セラミックインサート詳細図

S=1:1

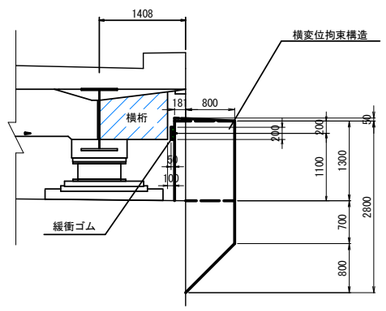
〈M12〉



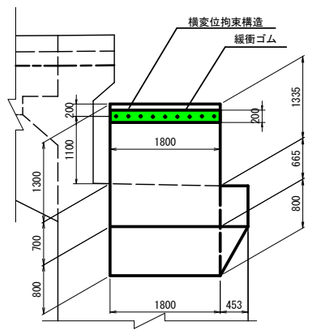
取付概要図



A－A

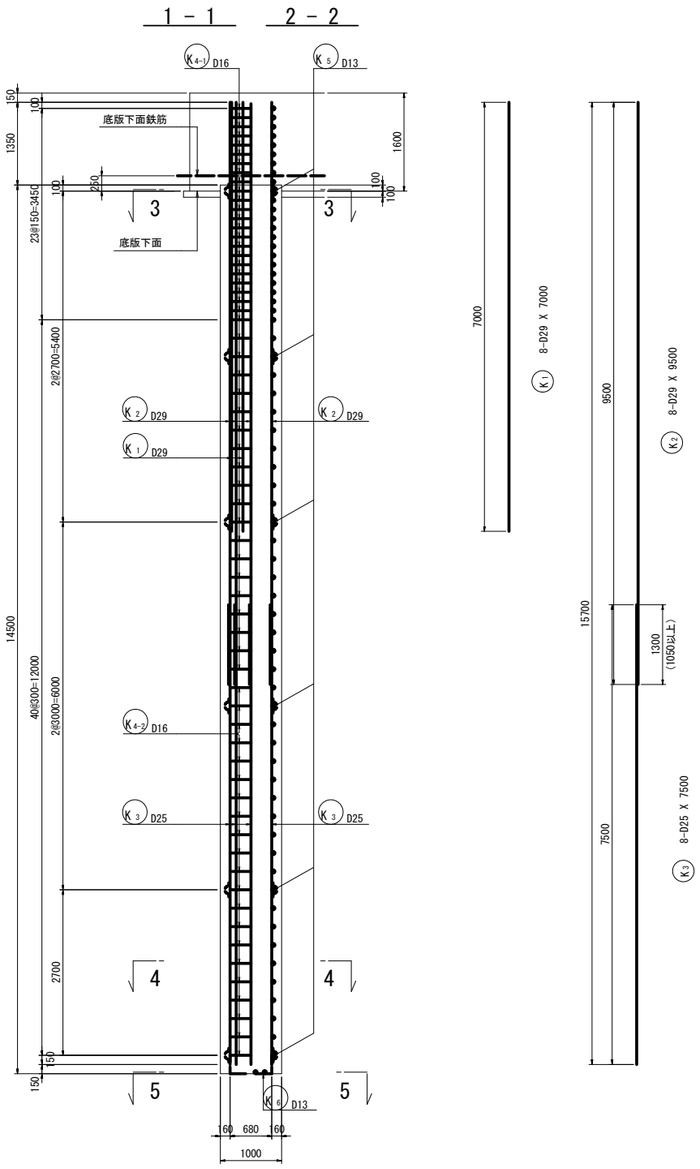


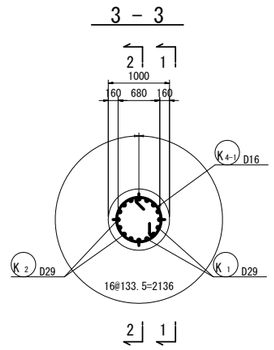
B－B

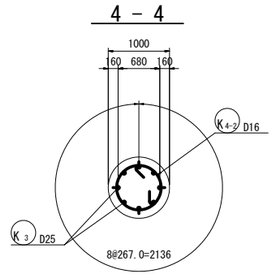


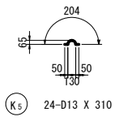
令和 8 年度 橋梁架替（大正橋）工事		
工事番号	線メンテ第 403-1 号	
河川名 路線名	中ノ渡十和田線	
施工箇所	青森県十和田市大字沢田 地内	
A1橋台 場所打ち杭配筋図	縮尺	1:50
図面番号	22 葉中 18	
上北県土整備事務所		
青 森 県		

A1橋台場所打ち杭配筋図 S=1:50

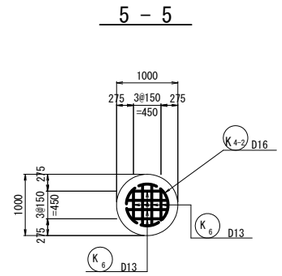


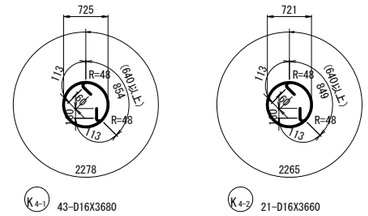






注）スペーサーは、１箇所当り４箇所取付け
１段毎に回転させ設置すること。





注）帯鉄筋のラップ位置は１段ごとに180°
回転させ設置すること。

鉄筋質量表

符号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
杭1本当り							
K 1	D29	7000	8	5.04	35.28	282	
K 2	〃	9500	8	〃	47.88	383	
K 3	D25	7500	8	3.98	29.85	239	
K 4-1	D16	3680	43	1.56	5.74	247	
K 4-2	D16	3660	21	1.56	5.71	120	
K 5	D13	310	24	0.995	0.31	7	
K 6	〃	1180	8	〃	1.17	9	（平均長）
						1287 kg	
						橋台1基当り	
合計	D29			665 kg	x 6 本	= 3990 kg	
	D25			239 kg	x 6 本	= 1434 kg	
	D16			367 kg	x 6 本	= 2202 kg	
	D13			16 kg	x 6 本	= 96 kg	
総質量				1287 kg	x 6 本	= 7722 kg	

※ 1. スペーサーは1段に4ヶ所とし1段ごとに回転させた位置に設置すること。
2. 帯鉄筋の継手位置は1段毎にずらして設置する。
3. スペーサーの形状はケーシングチューブの板厚を考慮し、軸方向鉄筋のかぶりが160mm確保出来る形状とする。

補強リング、固定金具

杭1本当り

種別	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
FB- 9x65	2017	3	4.59	9.26	28	D29用
FB- 9x65	2029	3	4.59	9.31	28	D25用
Uボルト(M12)	—	48	—	—	—	主鉄筋と補強リングの固定(D29用)
Uボルト(M12)	—	24	—	—	—	主鉄筋と補強リングの固定(D25用)
穴あけ加工	—	144	—	—	—	

※Uボルト規格
D29用、SS400、変形時荷重30kN以上
場所打ちコンクリート杭の鉄筋かご無溶接工法 設計・施工に関するガイドラインに準拠

変化鉄筋表

K6 8-D13 X 1180（平均長）

種別	径	本数	l	L
K6 － 1	D13	4	494	1094
－ 2	D13	4	651	1251
平均長		8	573	1173

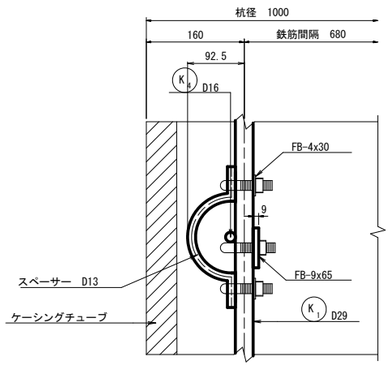
スペーサー固定金具

杭1本当り

種別	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
Uボルト(M12)	—	24	—	—	—	スペーサーと主鉄筋D29の固定
Uボルト(M12)	—	24	—	—	—	スペーサーと主鉄筋D25の固定
FB-4x30	80	48	0.942	0.075	3.6	

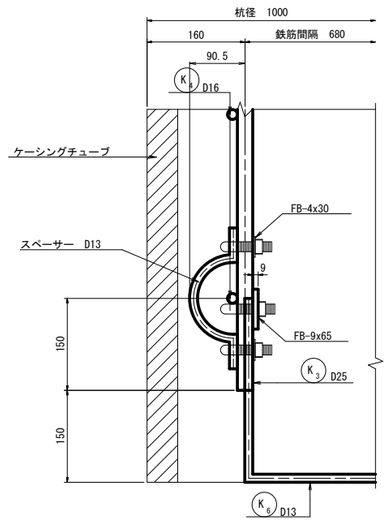
スペーサー参考図 S=1:5

一般部



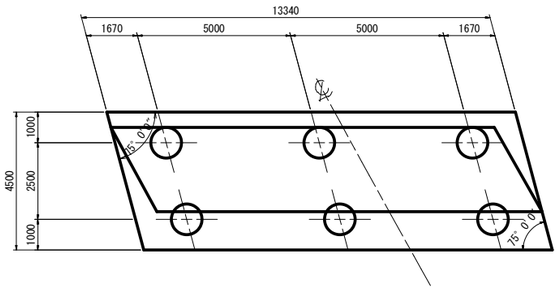
スペーサーは1断面あたり4箇所を固定する。
1交差箇所につき、上下1ヶ所ずつ金具で固定

杭先端部

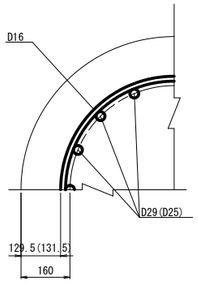


補強リングと井桁鉄筋は溶接などにより設置すること。
軸方向鉄筋の杭先端かぶりを確保すること。

杭配置図 S=1:100

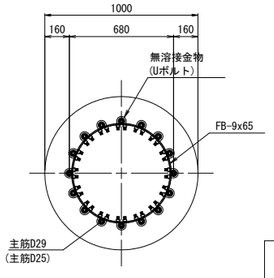


かぶり詳細図 S=1:10

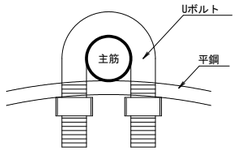


補強リングと主筋金具詳細図(参考図)

S=1:20



S=1:2



Uボルト又は同等品
主筋と補強リングは、全数金具で固定

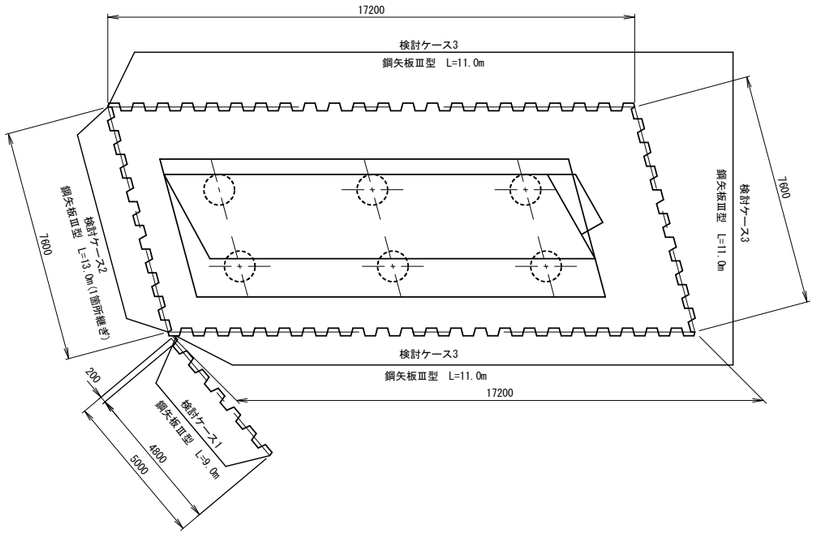
注意事項

1)コンクリート強度 σck= 30 N/mm2(呼び強度)
2)鉄筋(SD345) 耐久性能
σsa=160 N/mm2(水中部材)

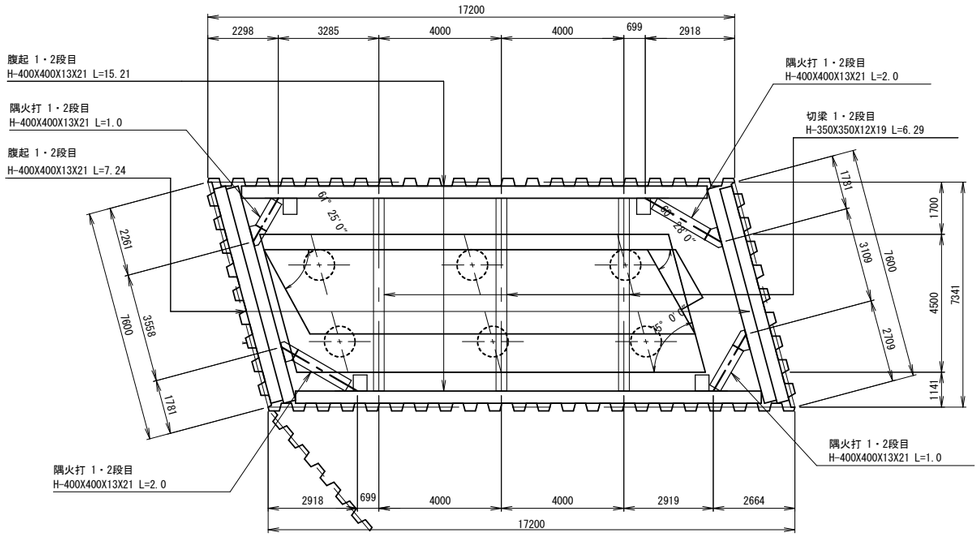
令和 8 年度 橋梁架替（大正橋）工事		
工事番号	線メンテ第 403-1 号	
河川路線名	中ノ渡十和田線	
施工箇所	青森県十和田市大字沢田 地内	
A1橋台仮締切工一般図(その1)(参考図)	縮尺	図 示
図面番号	22 葉中 19	
上北県土整備事務所		
青 森 県		

A1橋台 仮締切工一般図(その1)(参考図)

杭 伏 図 S=1:100



山 留 平 面 図 S=1:100

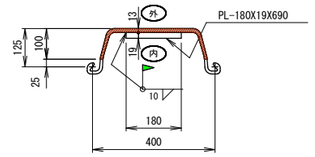


鋼矢板溶接継手詳細図 S=1:10

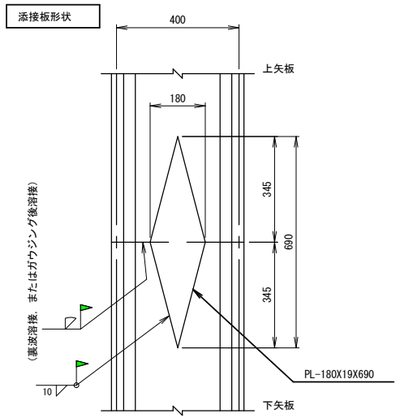
Ⅲ型鋼矢板

断面形状

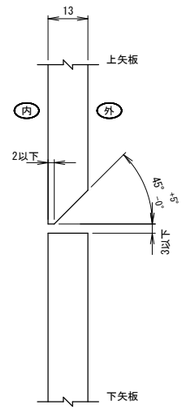
※ 着色部は開先加工範囲



添接板形状



突合せ溶接開先形状



継手１箇所当り明細

添接個所	種別	サイズ mm	重量／個 kg	数量	重量 kg	材質
ウェブ	添接板	PL-180X19X690	9.26	1	9.26	SM490A

A1橋台

名 称	規 格	長 さ (mm)	本 数	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg)	重 量 (kg)	備 考
■ 杭 材 ■							
鋼矢板	Ⅲ型	9000	13	60.000	540.000	7020	
	Ⅲ型	11000	101	60.000	660.000	66660	
	Ⅲ型	13000	19	60.000	780.000	14820	1箇所継ぎ
	CⅢコーナー	11000	4	62.500	687.500	2750	
添接板	PL-180X19X690		19	9.260	9.260	176	SM490A
					杭材合計	91426 kg	
■ 主部材 ■							
腹起	H-400X400X13X21	15210	4	200.000	3042.000	12168	1・2段目
	H-400X400X13X21	7240	8	200.000	1448.000	11584	1・2段目
切梁	H-350X350X12X19	5790	6	150.000	868.500	5211	1・2段目
隅火打	H-400X400X13X21	2000	4	200.000	400.000	1600	1・2段目
	H-400X400X13X21	1000	4	200.000	200.000	800	1・2段目
					主部材合計	31363 kg	

杭 材		91426 kg
主 部 材		31363 kg
副部材(A)	主部材 X 0.22	6900 kg
副部材(B)	主部材 X 0.04	1255 kg
	総重量	130943 kg

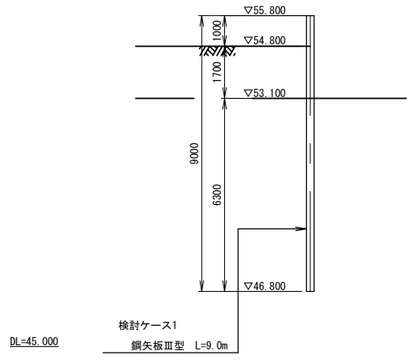
※ 切梁長はキリンジャッキ分0.5mを控除した値

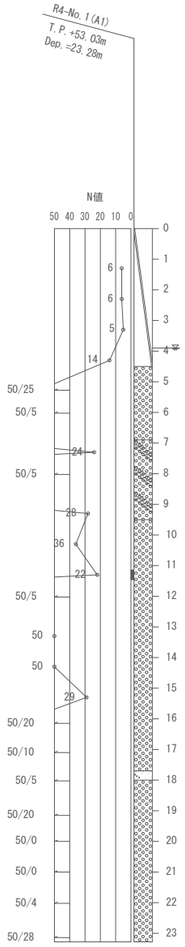
令和 8 年度 橋梁架替（大正橋）工事		
工事番号	線メンテ第 403-1 号	
河川路線名	中ノ渡十和田線	
施工箇所	青森県十和田市大字沢田 地内	
A1橋台仮締切工一般図(その2)(参考図)	縮尺	1:100
図面番号	22 葉中 20	
上北県土整備事務所		
青 森 県		

A1橋台 仮締切工一般図(その2)(参考図)

側 面 図 S=1:100

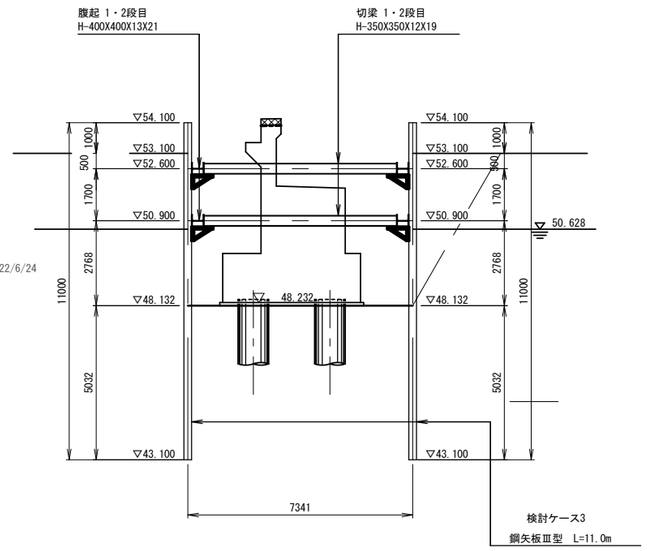
< 検討ケース1 >





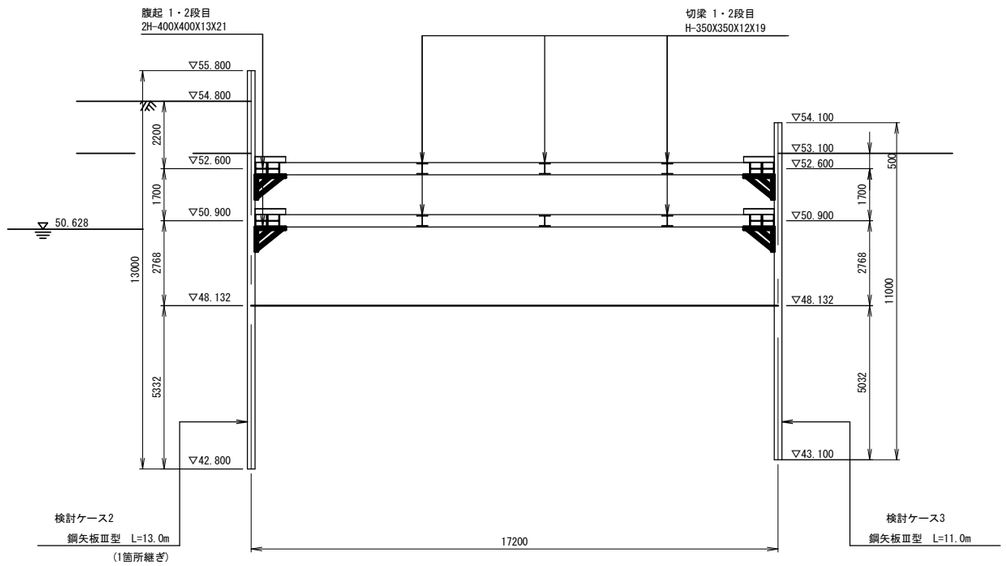
側 面 図 S=1:100

< 検討ケース3 >



断 面 図 S=1:100

< 検討ケース2・3 >

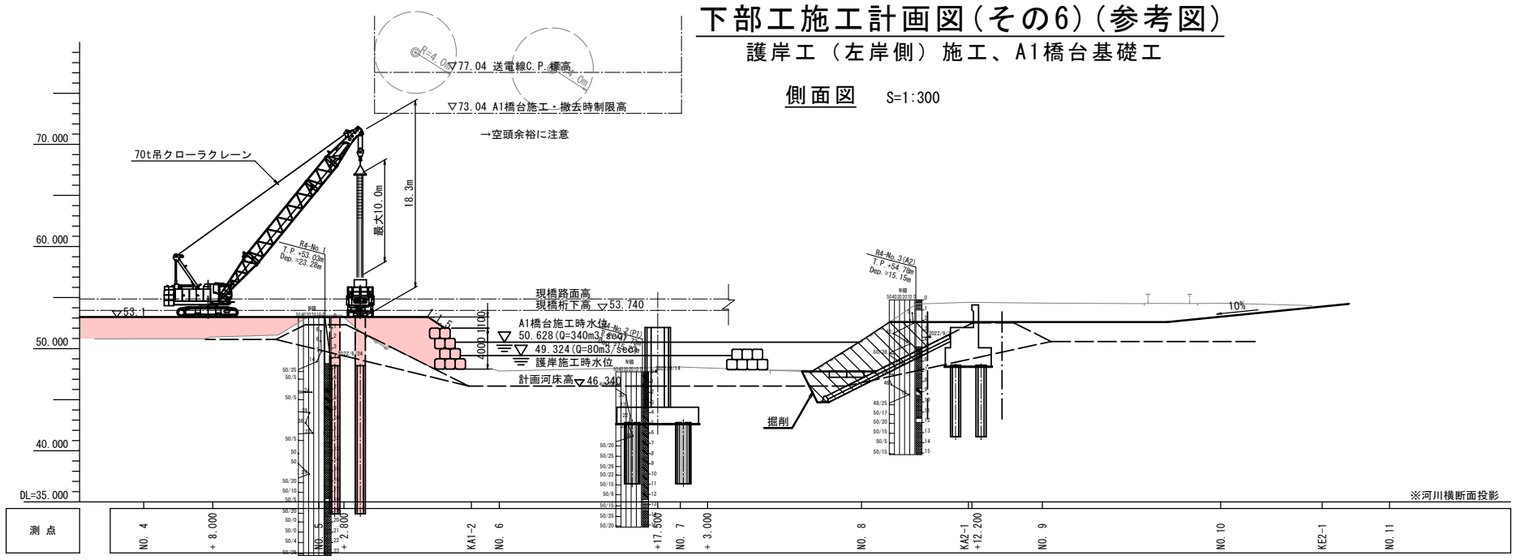


令和 8 年度 橋梁架替（大正橋）工事		
工事番号	線メンテ第 403-1 号	
河川路線名	中ノ渡十和田線	
施工箇所	青森県十和田市大字沢田 地内	
下部工施工計画図(その6)(参考図)	縮尺	図 示
図面番号	22 葉中 21	
上北県土整備事務所		
青 森 県		

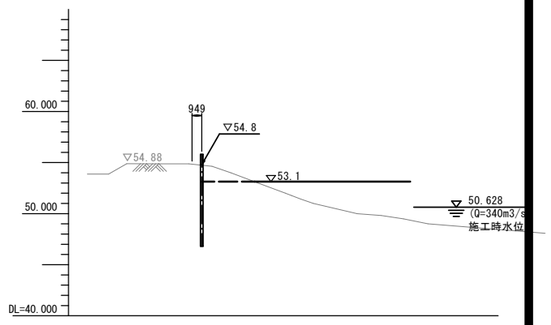
下部工施工計画図（その6）（参考図）

護岸工（左岸側）施工、A1橋台基礎工

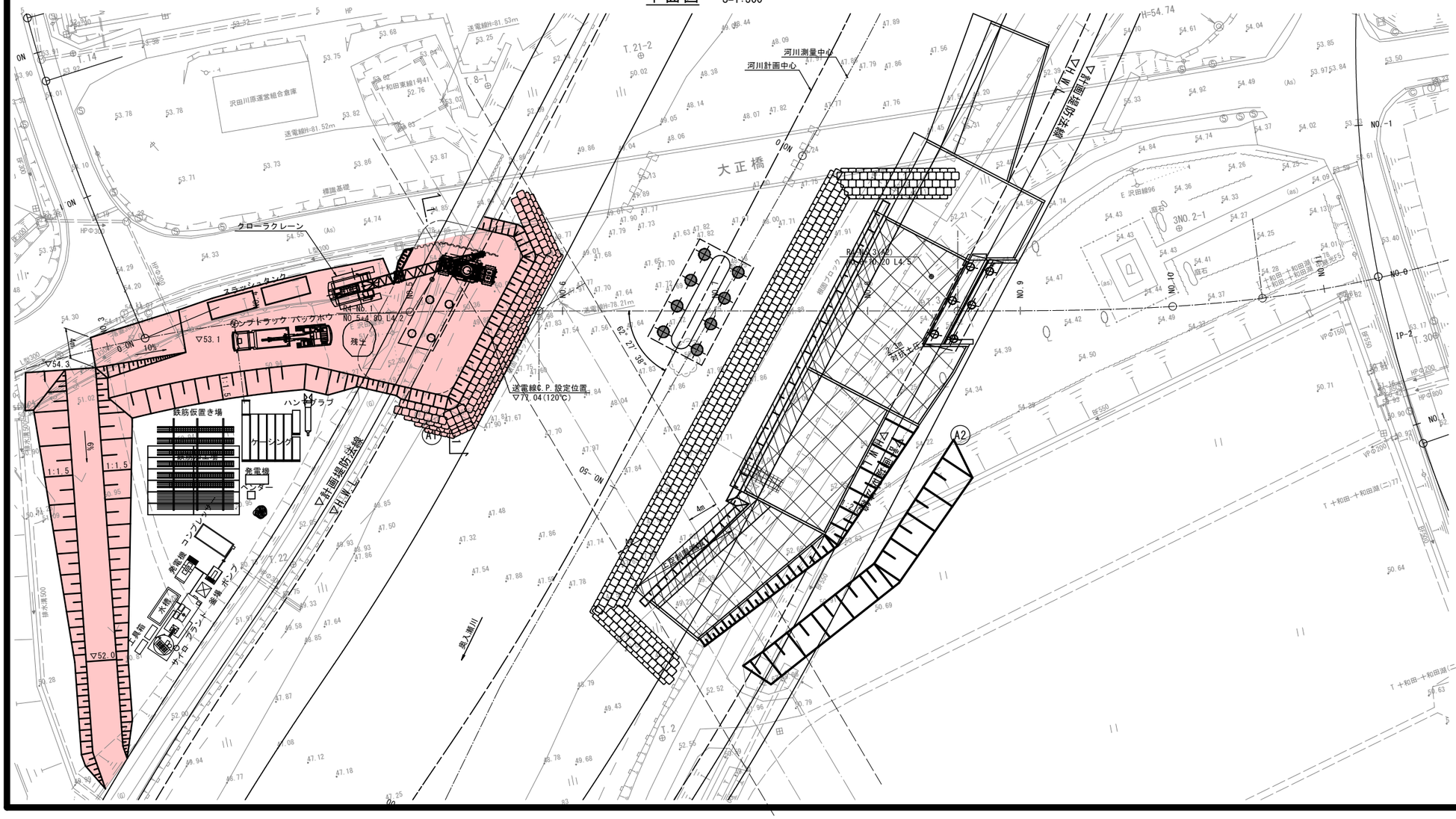
側面図 S=1:300



断面図（1-1）



平面図 S=1:300



【本体ユニット】
吊り重量 W1= 26.10t
32tフック重量 W2= 0.50t
合計 ΣW= 26.60t

主ブーム定格総荷重表 （単位:t）

作業半径(m) ＼ ブーム長さ(m)	15.2	18.3	21.3
6.0	44.8	44.7	44.7
7.0	35.4	35.3	35.3
8.0	29.2	29.1	29.0
9.0	24.8	24.7	24.6

70t吊クローラクレーン（コベルコ 7070G）

注 記

1. クレーン作業時は上空の送電線との離隔確保に十分留意すること。
2. 大型土のう工→基礎工→鋼矢板土留工→橋台工→護岸工は、1非出水期(11月～3月)内に完了する想定である。
A2側護岸工の施工を同時に行う。
パーティー数は、大型土のう工・鋼矢板土留工は2パーティー、基礎工・躯体工は 1パーティーを想定している。
また、鋼矢板は建込み中の継施工ではなく、打設前に予め溶接し必要長を確保しておく前提で計画している。

施工ステップ

施工ヤード・大型土のう工・橋脚基礎工（P1）
↓
橋脚鋼矢板打設工（P1）
↓
橋脚躯体工・仮設工撤去（P1）
↓
橋台基礎工（A2）
↓
橋台躯体工（A2）
↓
護岸工（左岸側）
↓
橋台基礎工（A1）
↓
橋台仮設工・躯体工（A1）
↓
護岸工（右岸側）
↓
上部工

令和 8 年度 橋梁架替（大正橋）工事			
工事番号	線メンテ第 403-1 号		
河川路線名	中ノ渡十和田線		
施工箇所	青森県十和田市大字沢田 地内		
下部工施工計画図(その7)(参考図)	縮尺	図 示	
図面番号	22 葉中 22		
上北県土整備事務所			
青 森 県			

下部工施工計画図（その7）（参考図）

A1橋台施工

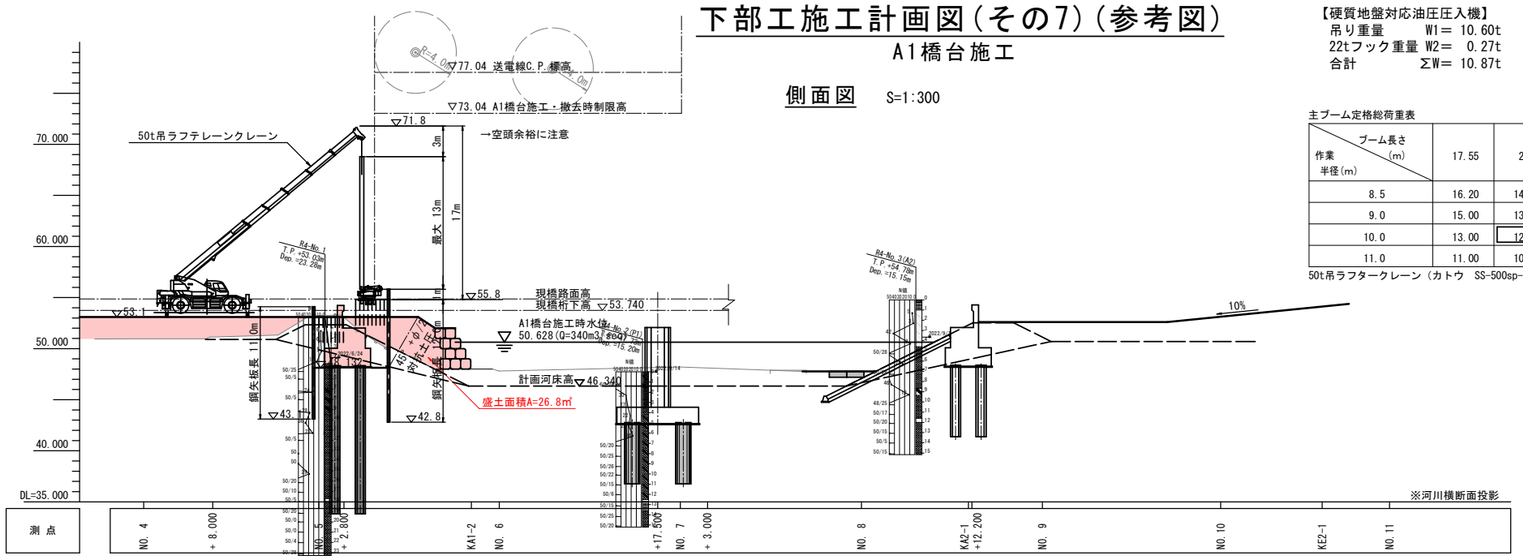
【硬質地盤対応油圧圧入機】
吊り重量 W1＝ 10.60t
22tフック重量 W2＝ 0.27t
合計 ΣW＝ 10.87t

主ブーム定格総荷重表 （単位:t）

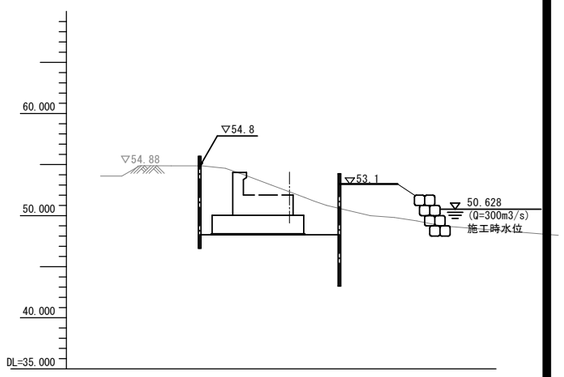
作業半径(m) ＼ ブーム長さ(m)	17.55	24.7	31.85
8.5	16.20	14.70	11.90
9.0	15.00	13.90	11.30
10.0	13.00	12.30	10.30
11.0	11.00	10.90	9.40

50t吊ラフタークレーン（カトウ SS-500sp-V）

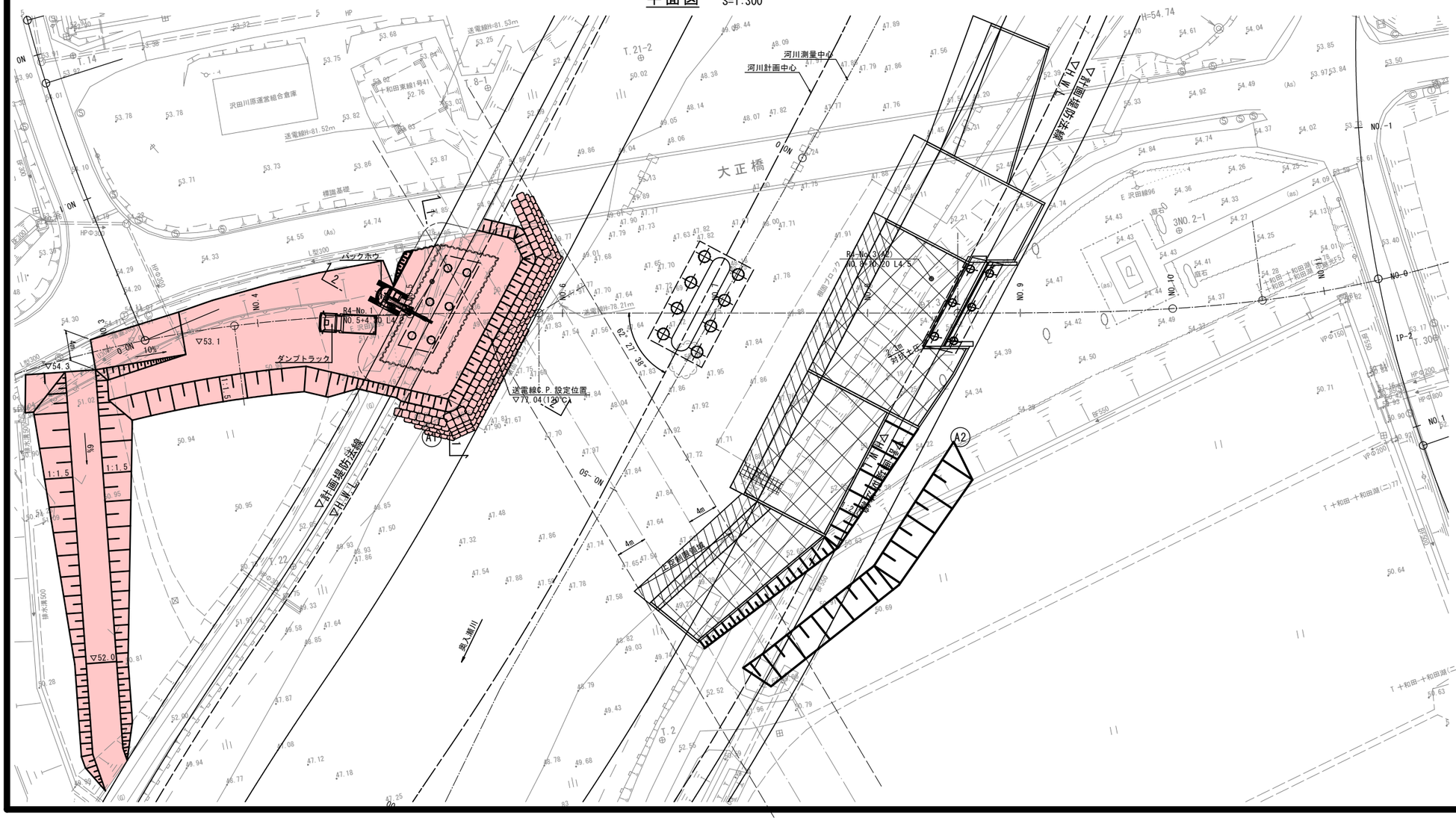
側面図 S=1:300



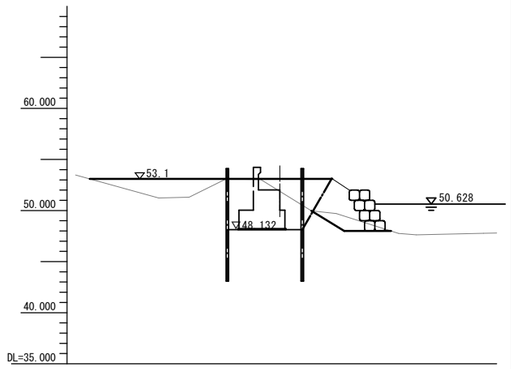
断面図（1－1）



平面図 S=1:300



断面図（2－2）



注 記

1. クレーン作業時は上空の送電線との離隔確保に十分留意すること。
2. 大型土のうエ→基礎工→鋼矢板土留工→橋台工→護岸工は、1非出水期(11月～3月)内に完了する想定である。
A2側護岸工の施工を同時に行う。
パーティー数は、大型土のうエ・鋼矢板土留工は2パーティー、基礎工・躯体工は 1パーティーを想定している。
また、鋼矢板は建込み中の継施工ではなく、打設前に予め溶接し必要長を確保しておく前提で計画している。

施工ステップ

施工ヤード・大型土のうエ・橋脚基礎工（P1）
↓
橋脚鋼矢板打設工（P1）
↓
橋脚躯体工・仮設工撤去（P1）
↓
橋台基礎工（A2）
↓
橋台躯体工（A2）
↓
護岸工（左岸側）
↓
橋台基礎工（A1）
↓
橋台仮設工・躯体工（A1）
↓
護岸工（右岸側）
↓
上部工